

令和 4 年度 事業報告

・ 法人本部	1
・ 障害者支援施設航	8
・ 金沢地域活動ホームりんごの森	18
・ 地域支援センター	34
・ 横浜市釜利谷地域ケアプラザ	43
・ 横浜市柳町地域ケアプラザ	57

別紙

事業報告附属明細書

令和4年度 法人本部 事業報告

概説

令和4年度は、年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた一年となりました。年度末になり、ようやく感染者が縮小傾向となりましたが、計画していたすみなすフェスタ等、地域との交流を深める事業はすべて中止とせざるを得ない状況でした。

ただし、法人運営の基本となる理事会、評議員会の開催、重要な課題としていた長期計画の検討、人材育成体制の充実等については着実な進捗を図ってきたところです。特に長期計画の検討では、計画検討に際して多くの職員からの意見提出を受け、法人全体として策定を進めることができたことは、今後に繋がる貴重な取り組みとなっています。

また、危機管理の体制を維持し、新型コロナウイルス感染症への対応については感染拡大を防ぐことを基本として継続してきました。

1 理事会・評議員会等の開催（継続）

（1）理事会

回	開催日	議 題
第1回	令和4年 6月3日	(1)決議事項 第1号議案 令和3年度事業報告及び計算書類等の承認（案） 第2号議案 令和4年度第一次補正予算（案） 第3号議案 勘定科目の追加（案） 第4号議案 定時評議員会の招集（案） (2)報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況報告について
第2回	9月14日	<決議の省略> 社会福祉法人すみなす会生活介護事業所設置に係る物品購入の契約締結方法等について（案）
第3回	9月27日	<決議の省略> 社会福祉法人すみなす会育児・介護休業等に関する規則の改正（案）
第4回	11月30日	(1)決議事項 第1号議案 令和4年度上半期事業報告（案） 第2号議案 令和4年度第二次補正予算（案） 第3号議案 規程の改正（案） ・経理規程の改正 ・事務分掌規程の改正 ・定款細則の改正 (2)報告事項 ① 理事長及び常務理事の職務執行状況報告について ② 生活介護事業所設置に係る物品購入の見積合せの結果について

第5回	令和5年 3月22日	(1)決議事項 第1号議案 令和4年度 第三次補正予算（案） 第2号議案 令和5年度 事業計画（案） 第3号議案 令和5年度 予算（案） 第4号議案 修繕積立金及び修繕積立資産の取崩について（案） 第5号議案 施設長等の任命について（案） 第6号議案 評議員選任・解任委員の選任について（案） 第7号議案 評議員候補者の推薦について（案） 第8号議案 評議員選任・解任委員会の招集について（案） 第9号議案 諸規程の改正（案） ・経理規程 ・事務分掌規程 ・ハラスメント防止規程の制定 ・就業規則の改正 ・嘱託職員就業規則の改正 ・非常勤職員就業規則の改正 ・登録ヘルパー就業規則の改正 ・育児・介護休業等に関する規則の改正 ・法令遵守規程の制定 ・苦情解決に関する規程の制定 ・定款細則の改正 第10号議案 役員賠償責任保険の契約について（案） (2)報告事項 ① 令和4年度横浜市釜利谷地域ケアプラザ実地指導監査の実施結果について
-----	---------------	--

(2) 評議員会〔定時評議員会〕

回	開催日	議 題
第1回	令和4年 6月22日	(1)報告事項 令和3年度 事業報告 (2)決議事項 第1号議案 令和3年度計算書類及び財産目録の承認（案）

2 人権擁護の推進

事業を進める上で重要な課題である、「ハラスメント防止規程」の整備を法人として行いました。また、各事業所においては、虐待防止、ハラスメント防止等について計画的に職員研修を実施しており、法人全体で職員の人権意識向上を図る取り組みを継続しました。

3 人材育成体制の充実（継続・拡充）

（1）体系的な法人主催研修の実施

① 階層別研修

研修名	実施日	主 な 内 容	参加者
新任職員研修	3月24日 25日	法人研修 ・法人の概要 ・組織活動の要点 ・キャリアパスと人事考課制度 等 接遇マナー研修 「職場における基本動作とコミュニケーション」 講師：Flightplan 代表 岩井昌江氏	8名
（中途採用） 新任職員研修	4月5日 5月2日 8月1日 10月3日 10月6日 11月6日	法人研修 ・法人の概要 ・組織活動の要点 ・キャリアパスと人事考課制度 等	9名
新任 課長補佐研修	5月9日	・「課長補佐」に求められるもの ・人事考課制度における役割 ・働きがいのあるチームを作るために	1名
新任 副主任研修	5月30日	・キャリアパスと人事考課制度 ・チームリーダーとしてのキャリアデザイン ・エンゲージメントについて	5名
中堅職員研修	10月6日	<ZOOM 研修> *アサーティブ・コミュニケーション 講師：(株)エイデル研究所 川崎 理代氏	17名
	10月25日		14名
副主任研修	10月13日	<ZOOM 研修> *チームビルディング 講師：(株)エイデル研究所 増田 直哉氏	15名
主任研修	10月28日	<ZOOM 研修> *スーパービジョン 講師：(株)エイデル研究所 増田 直哉氏	10名
新任職員 フォロー研修	令和5年 2月4日	「これまでを振り返りこれからを語ろう」 <法人事務局>	12名

② オンライン研修

- ・障害福祉分野「サポーターズカレッジ」の視聴回数合計：1221回
- ・高齢福祉分野「お茶の水ケアサービス」の視聴回数合計： 45回

（2）研修体系の再検討

新型コロナウイルスの感染防止の観点から、集合形態の研修については限定的な実施に止めました。研修体系の再検討は次年度以降の課題としていきます。

（3）人事考課制度の運用

人事考課制度は、日常業務を通して職員育成を行う仕組みとして取り組みを継続し

ました。人事考課を行う役職職員を対象に研修を実施し、職員についてより適正な評価を行う体制を維持しています。

4 情報発信力の強化（継続）

法人ホームページについて、各事業所の参画により、地域に向けた情報提供の充実を図りました。地域ケアプラザではデイサービスのイベント等を積極的に発信し、新たな利用者確保に向け活用しています。障害者福祉に関わる講演会についても周知を図りました。

5 職員交流研修会の開催（継続）

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、開催中止の判断を行いました。

6 危機管理の取り組み（継続）

年間を通して、新型コロナウイルス感染症は法人の事業運営に様々な影響をもたらしました。事業所間の情報共有を進め、法人として必要な対策を取る体制を維持してきたところです。

（1）新型コロナウイルス対策委員会

回	月 日	主 な 検 討 事 項
1	7/25	- 各事業所の新型コロナウイルス感染者の状況 - ワクチン接種（4回目）について - 感染者情報の外部周知について

（2）新型コロナウイルス感染状況（4月～3月）

① 感染者

事業所	利用者(名)	職員(名)	総数(名)
航	28	52	80
りんごの森	14	15	29
地域支援センター	30	30	60
釜利谷地域ケアプラザ	33	23	56
柳町地域ケアプラザ	14	14	28
計	119	134	253

② 濃厚接触者

	利用者(名)	職員(名)	総数(名)
航	39	24	63
りんごの森	13	21	34
地域支援センター	34	11	45
釜利谷地域ケアプラザ	10	14	24
柳町地域ケアプラザ	9	12	21
計	105	82	187

(3) ワクチン接種状況（4回目、5回目）

回	月 日	利用者(名) 〈障害福祉部門〉	職員(名)	総数(名)	接種会場	実施 医療機関
4	8/26	73	7	80	りんごの森	樹診療所
	9/9	68	9	77	航	釜利谷
計		141	16	157		
5	12/9	84	43	127	航	樹診療所
	12/23	74	23	97	りんごの森	釜利谷
計		158	66	224		

(4) 防災訓練

2月に法人全事業所の参加で災害時の通信訓練を実施し、各事業所から被災状況の報告を受け、法人本部で集約する取り組みを行いました。的確な情報把握及び集約が迅速に行えるよう、継続した訓練の必要性があり、次年度に継続していきます。

7 法人としての長期計画の策定（新規）

長期計画検討プロジェクトを管理職員及び各事業所選出職員 14 名で構成し、12 回にわたり検討を重ねてきました。長期計画策定の基本方針検討から開始し、今後 10 年の経営理念、経営目標、現状の課題等についてグループワークを取り入れながら協議を重ね、課題解決の方策等について検討を進めました。

11 月には常勤職員、嘱託職員に呼びかけ計画策定に係る意見募集を行い、120 名から回答を受けました。法人の今後に向けた積極的、具体的な意見が多数あり、計画検討に活かしています。

3月には経営理念（案）及び事業項目（案）を整理し、「すみなす会長期計画概要」として、理事会に報告を行いました。

<すみなすフェスタ等の開催>

新型コロナウイルス感染防止の観点からすべての行事を中止としました。

<資料編>

1 長期計画策定の経過

回	開催日	主 な 検 討 事 項 等
第1回	令和4年 5月16日	(1)計画年度について：2023年度～2032年度 (2)策定の基本方針 (3)策定体制 (4)策定日程 (5)すみなす会の20年とこれから～SDGsの視点から～ ⇒各事業所に資料提出依頼 (6)障害福祉部門の計画について ⇒航、りんごの森、地域支援センターについて情報共有
第2回	6月20日	(1)すみなす会の20年とこれから～SDGsの視点から～ ⇒各事業所から提出した内容について情報共有 (2)今後に向けて（意見交換） ・次回テーマ「10年後のすみなす会に向けた課題を出す」 ・次回、現在と10年後の状況のデータを準備する。
第3回	7月21日	(1)現在と10年後の状況 ⇒提出されたデータをもとに情報共有 (2)グループワーク ① 課題の共有 ② グループワーク：ブレインストーミング 「長期計画で出来るようになったこと、していきたいこと」
第4回	8月15日	(1)第3回長期計画検討プロジェクトの振り返り (2)グループワーク：ブレインライティング 「目の前の人を120%ハッピーにする すみなす会の経営理念・経営目標」
第5回	9月12日	(1)今後の検討スケジュールについて (2)経営理念について (3)現状の課題について 各事業所から提出された資料について情報共有
第6回	10月13日	(1)経営理念の再検討について (2)具体的な事業内容の検討 (3)今後の検討スケジュール
第7回	10月24日	(1)長期計画策定に係る「職員意見」の募集について (2)法人の現状と課題について (3)今後の検討スケジュール
第8回	11月14日	(1)長期計画策定に係る「職員意見」の集約について (2)すみなす会はこれから何に取り組んでいくべきか (3)今後の検討スケジュール
第9回	12月15日	(1)長期計画事業項目の検討 (2)今後の検討スケジュール

第 10 回	令和5年 1 月 16 日	(1)長期計画事業項目の検討 (2)今後の検討スケジュール
第 11 回	2 月 13 日	(1)経営理念（案）について (2)今後の日程等について
第 12 回	3 月 13 日	(1)経営理念・事業項目（案）について (2)今後の日程等について

2 令和 4 年度 職員状況

(1) 常勤職員数・嘱託職員数

	年度当初	中途 採用者	異動		退職者	年度末
			転入	転出		
法人事務局	6	0	0	0	0	6
航	56	0	1	1	1	55
りんごの森	36	2	1	1	1	37
地域支援センター	30	1	1	0	3	29
釜利谷地域ケアプラザ	16	1	0	0	1	16
柳町地域ケアプラザ	15	0	0	0	1	14
計	159	4	3	2	7	157

*年度当初：4 月 1 日採用者（7 名）含む

*退職者：3 月 31 日退職者（1 名）含む

(2) 非常勤職員数

	年度当初	中途 採用者	異動		退職者	年度末
			転入	転出		
法人事務局	1	0	0	0	0	1
航	66	6	1	1	9	63
りんごの森	43	21	2	2	7	57
地域支援センター	56	19	0	0	12	63
釜利谷地域ケアプラザ	56	6	0	0	8	54
柳町地域ケアプラザ	43	10	0	1	8	44
計	265	62	3	4	44	282

*年度当初：4 月 1 日採用者（2 名）含む

*退職者：3 月 31 日契約満了者（9 名）含む

令和4年度 航事業報告

概説

令和4年度も引き続き、年間を通し新型コロナウイルス感染防止のため、消毒の徹底や密とならない環境整備に努め、利用者、職員が少しでも安心感が持てるよう事業を進めてきました。10月以降は、3年ぶりに日中活動懇談会、ユニット懇談会の他、日帰りや一泊旅行等の行事について、地域の感染状況を見極めながら実施することが出来ました。

また、地域支援センターが運営するグループホームの移転や新規開設等に伴い、航から4名の利用者の地域移行を行いました。欠員が出たことに伴い入所調整会議を実施し、新規利用者の入所を進めました。

今後も、金沢区内唯一の障害者入所施設として、地域で暮らす障害のある方とそのご家族にとって、親亡き後も安心して利用者中心の生活が継続されると信頼していただける事業を推進していきます。

その他の各事業については、概ね順調に推進することができました。

1 事業概要

令和5年3月31日現在

	事業名	定員数(人)	現員数(人)
国事業	施設入所支援事業	50	46
国事業	生活介護事業	60	74(注1)
国事業	生活介護事業(コパン)	20	21(注2)
国事業	短期入所事業	4	4
横浜市事業	日中一時支援事業	若干名	若干名

(注1) 1日平均利用者は61.2人

- 内訳 ①施設入所利用者：37人
 ②グループホーム利用者：21人
 ③在宅の利用者：16人

(注2) 内訳 ①施設入所利用者：9人
 ②グループホーム利用者：9人
 ③在宅の利用者：3人

(1) 施設入所支援事業(ユニット)

() は前年度

年齢階層 (歳)	利用者(人)	肢体 不自由	自閉	発作	障害支援区分		
	総数				区分6	区分5	区分4
総数	46	7	20	14	35 (38)	10 (9)	1 (1)
平均 年齢	44.4歳				76% (79%)	22% (19%)	2% (2%)

※障害の状態は最重度の区分（6と5）の利用者が全体で98%を占め、43%の人が自閉症を重複しています。

※2月に3名がグループホームへの地域移行により退所されたため、3月31日時点は、46名となっています。

（2）生活介護事業（日中活動）

（ ）は前年度

年齢階層	利用者（人）	肢体 不自由	自閉	発作	障害支援区分			
	総数				区分6	区分5	区分4	区分3
総数	95	13	46	27	76 (75)	13 (13)	4 (4)	1 (1)
平均 年齢	43.9 歳				80% (80%)	14% (14%)	5% (5%)	1% (1%)

※障害の状態は最重度（区分6と5）の利用者が全体で95%を占めています。

3 重点項目の実施状況

（1）航長期計画の振り返り及び法人長期計画の作成（新規）

平成 24 年度（2012 年）に策定した「航中長期計画」のこれまでの 10 年間の事業実績の整理を行い、令和 5 年度からの事業展開に向けては、すみなす会長期計画の策定に参画し、航が地域の障害者やその家族等にとって、地域での生活を支える存在であり続けるためにどのような取り組みが必要となるのか、長期的視点に立った検討・提案を行いました。

（2）感染症発生時における業務継続計画の更新（新規）

航で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことから、障害福祉部門合同で作成した事業継続計画の中で新型コロナウイルス感染症等の対策について、感染された利用者への支援時に必要な備品や支援方法等の更新を行いました。今後、危機管理体制を更に整備するため、継続して安全対策の構築に努めていきます。

（3）災害時を想定した航生活棟の水道直管工事实施（新規）

これまで航生活棟では、停電時に水道の配給が止まる事態が起きていました。そこで、震災等で停電が生じた場合に、非常時のスプリンクラーを稼働させるために設置している自家発電機を「火災が発生していない時のみ」その電源を利用して航生活棟へ配水できるよう電源工事を実施しました。

これにより、生活棟において断水となってしまう状態を改善できたことで、停電災害時の生活環境の維持を図る対策を行うことができました。

(4) 意思決定支援の推進（継続）

①部署ごとに、特に行動障害のある利用者への意思決定支援について取り組み、年度末に各部署の実践報告を職員会議にて行うことで航全体での共有を図りました。

今後も取り組みを継続していくことで、利用者の生活や活動における選択の幅を広げていけるようにしていきます。

② 虐待防止委員会（身体拘束適正化委員会を含む）において、利用者支援で対応等を迷った場合などについて、チームでより良い対応方法を探る議論を行いました。また、利用者中心の支援について充実を図ることを目的に、虐待防止研修会を全職員対象に実施しました。今後も利用者の権利擁護の視点から、日々の支援をさらに充実させていきます。

(5) 労働環境の改善（継続）

高齢化等により、起床介助や移動時に身体介助の必要性が高くなっている利用者支援において、介護アシストスーツ及び移乗サポートロボットの導入を行いました。

また、毎朝、日中活動に係る職員を中心に業務従事前のラジオ体操を行うようにしました。今後も更に介護 ICT（Information and Communication Technology）の導入を進めるとともに、職員の腰痛防止等の措置を図っていきます。

(6) 避難訓練の実施（継続）

事業継続計画（BCP）を踏まえて、法人全体で被害状態や安否確認を集約するための通信訓練をはじめ、法人事務局及び釜利谷地域ケアプラザと合同で地震災害発生を想定した避難訓練を実施しました。発災時の役割分担等を含め、災害時により早く事業を復旧することができるよう、実態に即した訓練としています。

その他、施設内に不審者が侵入したことを想定した防犯訓練の他、水災害を想定した応援職員招集訓練等を実施しました。

4 令和4年度航事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

(単位：円)

	令和4年度	令和3年度	増減	備考
障害福祉サービス等事業収益	614,008,497	618,127,400	△ 4,118,903	重度加算初期加算終了（6か月間）による減、コロナによる延べ利用者数の減
経常経費寄附金収益	3,060,000	50,000	3,010,000	
サービス活動収益計（1）	617,068,497	618,177,400	△ 1,108,903	
人件費	454,919,549	441,358,565	13,560,984	常勤職員定期昇給、処遇改善加算支給、非常勤社会保険加入者増
事業費	86,030,962	78,472,739	7,558,223	水道光熱費、光熱費原油価格高騰
事務費	61,202,022	68,468,207	△ 7,266,185	令和3年度大規模修繕工事
減価償却費	39,233,577	38,128,794	1,104,783	
国庫補助金取崩額	△ 28,346,630	△ 28,323,714	△ 22,916	
サービス活動費用計（2）	613,039,480	598,104,591	14,934,889	
収支差額（1-2=3）	4,029,017	20,072,809	△ 16,043,792	
サービス活動外収益（4）	8,563,477	8,079,173	484,304	
サービス活動外費用（5）	2,750,535	2,908,680	△ 158,145	
サービス活動外増減差額（4-5=6）	5,812,942	5,170,493	642,449	
経常増減差額（3+6）	9,841,959	25,243,302	△ 15,401,343	

〈資料編〉

1 実施事業（令和5年3月31日現在）

	事業名	定員数（人）	現員数（人）
国事業	施設入所支援事業	50	46
国事業	生活介護事業	60	74（注1）
国事業	生活介護事業（コパン）	20	21（注2）
国事業	短期入所事業	4	4
横浜市事業	日中一時支援事業	若干名	若干名

（注1）生活介護事業の定員は60人ですが、現員の利用者数は74人。週に2日程度の利用等もあり、1日平均61.2人となっています。

・利用者74人の内訳は、①施設入所利用者が37人、②グループホーム利用者が21人、③在宅の利用者が16人。

（注2）利用者20名の内訳は、①施設入所利用者が9人、②グループホーム利用者が9人、③在宅の利用者が3人。

2 利用者の現況（令和5年3月31日現在）

（1）施設入所支援事業（ユニット）

（ ）は前年度

年齢階層 （歳）	利用者（人）	肢体 不自由	自閉	発作	障害支援区分		
	総数				区分6	区分5	区分4
10～19	0	0	0	0	0	0	0
20～29	5	0	4	0	2	2	1
30～39	7	0	3	1	5	2	0
40～49	20	4	9	10	16	4	0
50～59	13	3	4	3	12	1	0
60以上	1	0	0	0	0	1	0
総数	46	7	20	14	35 (38)	10 (9)	1 (3)
平均年齢	44.4 歳				76% (79%)	22% (19%)	2% (2%)

＊利用者の平均年齢は44.4歳、前年度は44.5歳

＊利用者の男女比は男性69.6%、女性30.4% 前年度は男性72.9%、女性27.1%

＊入所施設利用者の障害支援区分は、最重度（障害支援区分6及び5）の利用者が全体で98%

＊知的障害に加え、重複して肢体不自由（15%）、自閉症（43%）、発作などの合併症（30%）がある。

(2) 生活介護事業（日中活動）

（ ）は前年度

年齢階層	利用者 (人)	肢体 不自由	自閉	発作	障害支援区分			
	総数				区分6	区分5	区分4	区分3
15～19	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	20	2	11	1	14	3	3	0
30～39	14	1	9	1	10	4	0	0
40～49	29	4	14	15	25	4	0	0
50～59	27	4	12	10	24	1	1	1
60以上	5	2	0	0	3	2	0	0
総数	95	13	46	27	76 (76)	14 (13)	4 (5)	1 (1)
平均年齢	43.9 歳				80% (80%)	15% (14%)	4% (5%)	1% (1%)

*利用者の平均年齢は 43.9 歳、前年度は 44.0 歳

*利用者の男女比は男性65%、女性35%

*生活介護事業利用者の障害支援区分は、最重度（障害支援区分6及び5）の利用者が全体で95%

*重度障害者支援加算対象者については、航で66人（89%）、コパンで13人（62%）となっています。

*知的障害に加え、肢体不自由（14%）、自閉症（48%）、発作（28%）等の合併症があります。

・活動班・在籍者数（生活介護事業）

（航）

活動班名	羅針盤	和海	農耕園芸班	リクルー班	陶芸班
利用者数	10 人	9 人	10 人	11 人	9 人
活動班名	手工芸班	アクティブ 班	環境整備班	ITクラブ班	計
利用者数	6 人	11 人	2 人	6 人	74 人

（手織り工房コパン）

活動班名	コパン	アミー	計
利用者数	13 人	8 人	21 人

(3) 短期入所事業

【令和4年度 受入実績】

() は前年度

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
宿泊 人数	15 (27)	37 (29)	33 (22)	28 (29)	32 (27)	37 (25)	
宿泊延 日数	40 (73)	100 (81)	90 (59)	83 (84)	88 (75)	99 (79)	
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿泊 人数	37 (29)	41 (30)	25 (26)	32 (29)	38 (6)	40 (26)	395人 (305人)
宿泊延 日数	96 (82)	107 (89)	65 (80)	81 (91)	104 (15)	110 (75)	1063日 (883日)

※・短期入所事業は、介護者の入院、冠婚葬祭やレスパイト等により利用者の介護ができない場合に、「航」の宿泊・日中活動を短期間利用できる制度で、利用者・家族が在宅生活を継続するために必要なセーフティネットの役割を果たしています

※短期入所事業の利用実績は、4月、12月に新型コロナウイルスクラスターが発生したことにより当該月の減少は見られました。また、7月には他事業所で新型コロナウイルスクラスターが発生したことにより減少が見られています。年単位では前年度と比べて利用希望者が戻りつつあり、前年度比で延べ利用人数95名の増(129%)となりました。また、宿泊延日数では前年度比180日の増(120%)となっています。

※一人当りの平均利用日数は2.6日

※利用最長日数5日/月、利用最短日数2日

※利用の主な理由

- ・介護者の休息（レスパイト） 約56%
行事、外出、その他
- ・介護者の仕事 約18%
- ・介護力低下 約9%
- ・体験利用 約17%

(4) 日中一時支援事業

【令和4年度 受入実績】

() は前年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4時間未満	0 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (6)	0 (5)	0 (3)	
4時間～ 8時間未満	0 (2)	0 (5)	2 (4)	3 (2)	0 (1)	0 (2)	
8時間以上	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4時間未満	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (2)	0 (2)	0 (0)	0人 (29人)
4時間～ 8時間未満	1 (1)	1 (2)	1 (5)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	11人 (25人)
8時間以上	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0人 (0人)

※日中一時支援事業は、宿泊を伴わない日中の時間帯に利用できます。継続して一定の利用ニーズがあります

※利用の主な理由

- ・介護者の休息（レスパイト） 約73%
行事、外出、その他
- ・介護者の仕事 約0%
- ・介護力低下 約0%
- ・体験利用 約27%

3. 安全への配慮

①転倒	②誤与薬			③外傷		④所在不明		⑤誤嚥	⑥異食	⑦他害	⑧車両
	急薬	誤与薬	落錠	通院あり	様子観察	施設外	施設内				
31 (8)	6 (5)	2 (11)	7 (4)	14 (17)	13 (2)	0 (3)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	4 (6)	1 (5)
	15 (20)			27 (19)		2 (6)					
80 件 (64 件)											

① 転倒は31件（前年度8件）で、前年度より23件増加しました。

② 誤与薬の事故件数は15件(前年度20件)で、前年度より5件減少。与薬時に錠剤を口元等から滑らせて床に落下させてしまう落錠や、排泄状況に応じた下剤の追加等を誤ってしまう急薬が目立ちました。

- ③ 外傷件数は27件(前年度19件)で8件増加しました。外傷のうち、同一利用者の転倒等に起因するものが複数見られました。
- ④ 所在不明の件数は2件。(短期入所中の利用者1名、入所利用者1名)。
- ⑤ 誤嚥は0件。
- ⑥ 異食は0件。
- ⑦ 他害行為は4件(前年度6件)で減少傾向が見られる。
- ⑧ 車両事故は1件。

＊事故報告書については、軽微な事故でもすべて報告するよう義務づけ、施設長決裁としています。今後も事故防止の徹底に努めていきます。

4. 職員研修（人材育成）

- 今年度も、前年度に引き続き、外部の研修機関に、職員を多く派遣することができました。加算算定等に係る研修として、「強度行動障害者支援者養成研修および行動援護従業者養成研修（5名）」、「サービス管理責任者研修（2名）」、「医療的ケア実務者研修（4名）」に派遣を行いました。また、職員のキャリア形成や新任職員育成を目的とした研修として、「チームリーダー研修」「フォローアップ研修」等の研修にも派遣することが出来ました。
- 内部研修については、現場職員に必要とされる研修内容の聞き取りを行い年間スケジュールを計画し実施しました。応急手当（心肺蘇生法）、感染症予防の実施研修及び、腰痛予防研修として、ケアプラザの職員を講師に招き、実施研修を行いました。また、昨年度に引き続き、全職員参加型の虐待防止委員会主催の虐待防止・人権研修を行いました。

5. その他

（１）苦情解決

苦情受付 ①件数 0件（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

②内容

（件）

苦情の内容	令和4年度	令和3年度
① 虐待・放置・脅迫・詐欺に関すること	0	0
② サービス・支援内容に関すること	0	0
③ 個人の嗜好・選択に関すること	0	0
④ 利用者の所持金に関すること	0	0
⑤ その他	0	0
計	0	0

(2) 虐待防止委員会

次年度から全ての障害福祉サービス事業所に義務付けられる虐待防止委員会の設置について、今年度より設置・開催しました。

	開催日	内容
第1回	5月24日	委員会の目的、虐待防止指針の確認、年間スケジュール、職員セルフチェックリスト
第2回	7月12日	職員セルフチェックリストの結果についての報告と共有、マニュアル作成、研修内容の検討
第3回	9月13日	マニュアル(案)の検討、ハラスメント防止に関する確認事項、研修に向けた検討
第4回	11月8日	研修内容・資料の確認
主催研修	11月29日	「虐待防止・人権研修」(職員会議内)
第5回	2月14日	ハラスメント防止マニュアル(案)の検討、身体拘束等適正化について、次年度に向けて

(3) 避難訓練

令和4年度の航の避難訓練は、11月5日、2月28日、3月4日の3回実施しました。11月は、夜間における火災を想定し白山道町内会にも参加して頂き、2月はケアプラザと合同で日中の地震を想定し、3月は夜間に超大型台風が直撃したことによる土砂災害を想定した訓練を実施しました。訓練では利用者の避難誘導を行った後に、職員を対象に水消火器を使用した初期消火訓練や土砂災害を想定した職員の応援要請の手順・情報伝達方法などの学習を行いました。

・航の従たる事業所と手織り工房コパンにおいてもそれぞれ避難訓練を実施しました。

「和海」(金沢区釜利谷東)では、12月26日(火災想定)、3月24日(地震想定)、3月28日(洪水想定)に実施し、「羅針盤」(金沢区泥亀)では、9月30日(地震想定)、10月31日(洪水想定)、12月19日(火災想定)に実施しました。また、「手織り工房コパン」(金沢区釜利谷東)では10月17日(地震想定)、2月15日(洪水想定)に、「手織り工房アミー」(金沢区釜利谷南)では、5月30日(土砂想定)、9月15日(地震・火災想定)、12月8日(地震・火災想定)に実施しました。

令和4年度 金沢地域活動ホームりんごの森事業報告

概説

新型コロナウイルス感染症の流行から3年が経過し、ご利用者及び職員複数に感染の確認が見られましたが、事業を休止することなく事業運営を行うことが出来ました。

令和4年度は、事業の充実を図るため、新設の日中活動事業所「ネーブル」の開所の他、相談支援事業所（金沢区基幹相談支援センター・計画相談）の移転を下半期に実施しました。日中活動では受け入れ枠の拡大を行い、相談支援では相談される方がアクセスのしやすい環境を整えました。

また、職員を対象に虐待防止と身体拘束適正化に向けた研修及びハラスメント防止研修を実施し、権利擁護の重要性を理解するとともにハラスメント防止体制を整備しました。

1. 新型コロナウイルス感染症への対応

感染予防対策の継続と行政の通知に沿った対応を進めてきました。流行期では関係者複数に感染が見られましたが、抗原検査キットの活用により感染拡大を防ぐことが出来ました。3月にはマスク着用が任意となりましたが、ご利用者様及び職員には引き続き着用の依頼をしました。

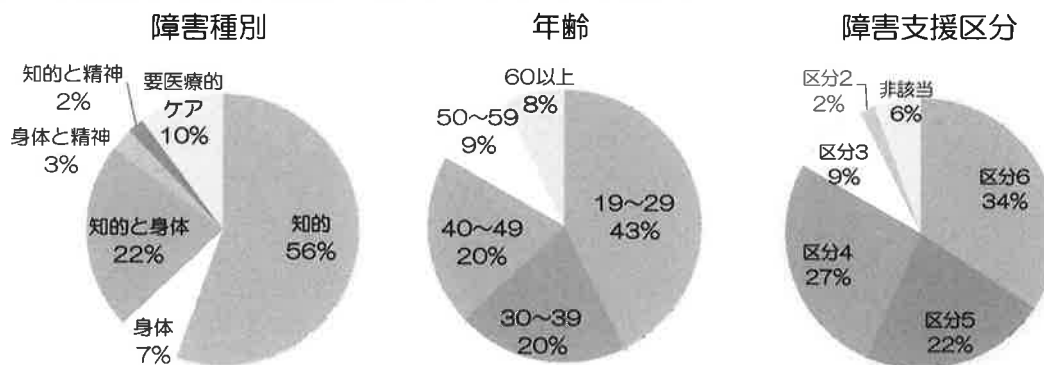
また、ワクチン接種について嘱託医の協力を得て8月（第4回）と12月（第5回）に実施し、半数以上のご利用者に接種しました。

2. 重点項目の実施状況

（1）新規事業の推進（継続）

令和2年度より準備を進めた新設の日中活動事業所「ネーブル」（定員20名）について、11月1日に開所しました。りんごの森から13名のご利用者が移行し、現在は15名で部品の組み立て作業や個別の自立課題（型はめ等）に取り組んでいます。開所により日中活動全体での受け入れ枠を拡大したことで、今後、特別支援学校卒業予定者や在宅の方などの受け入れを積極的に進めていきます。

○日中活動全体の利用者状況（令和５年３月３１日現在）



事業所名	事業種別	定員	契約者数	1日の平均 利用人数	平均年齢	平均障害 支援区分
りんごの森	生活介護	40	75 (84)	44.2 (45.4)	37.3 (35.8)	4.9 (4.9)
	地域活動支援センター (デイサービス型)	10	1 (1)	0.3 (0.4)	46 (45)	2 (2)
ラ・ヴァリエッタ	生活介護	10	10 (10)	9.3 (8.6)	37.3 (36.7)	4.6 (4.6)
	就労継続支援B型	10	7 (3)	4.3 (2.3)	28 (35.6)	0.6 (2.3)
ネーブル	生活介護	20	15 (0)	※10 (0)	31.4 (0)	4.8 (0)
合計		90	108 (98)	68.1 (56.7)	35.9 (36.4)	4.6 (4.8)

※ネーブルは令和４年１１月から令和５年３月までの利用実績に基づき算出
()内は昨年度の状況

(2) 相談支援事業所の移転（新規）

これまで金沢区基幹相談支援センターと計画相談は富岡東金井ビル３階で事業を運営していましたが、相談者にとってはやや不便な環境でした。このため、10月に相談室を能見台通（能見台駅徒歩２分）に移転し、利便性を向上させました。

(3) ハラスメント防止に向けた取り組み（新規）

職員会議にて改正労働施策総合推進法の周知を目的とした動画視聴研修を行うとともに、防止規定や相談窓口、問題解決に向けた対応体制について確認しました。今後もハラスメントの予防と互いに尊重し合えるコミュニケーションの実現に向けて取り組みを継続します。

(4) 虐待防止の推進と身体拘束適正化に向けた取り組み（新規）

職員を対象に、日頃の業務で感じていることについてアンケート調査を実施し、この結果を参考にしながらグループワークで事例検討を行いました。利用者の立場での感じ方や、職員として何ができるか意見を出し合い、互いの考えを知る事が出来ました。今後も継続実施し、ご利用者への向き合い方の他、職員相互の理解を図っていきます。

(5) 相談支援事業の推進（継続）

金沢区基幹相談支援センターが実施している総合相談では知的障害（50％）に次いで精神障害（26％）の方からの相談が多く、相談内容では福祉サービス利用に関すること（28％）に次いで健康・医療に関する支援（21％）が多い状況にありました。地域の計画相談事業所のバックアップの他、相談される方には、発達障害者支援センターや病院ソーシャルワーカー等と連携しながら対応しました。今後も相互協力のもと支援を継続します。

(6) 独自事業（区との連携事業）の推進（継続）

親あるうちの準備を考える連続講座として講演会の他5回の講座を開催しました。各会定員 30 名に対して平均 26.5 名（88％）の参加があった他、申し込みされた方には録画した動画を後日視聴できるよう YouTube にて動画配信しました。アンケートを実施し、概ね「分かりやすかった」との評価でした。今後は参加者が得た情報や知識が活かせるよう工夫の上、実施します。

親あるうちの準備を考える連続講座

講演会	： 障害のある子の家族が知っておきたい「親なきあと」「相談先について」（6月10日）
第1回目講座	： 障害者のすまいについて（7月8日）
第2回目講座	： 成年後見制度（制度概要など）（8月31日）
第3回目講座	： 成年後見制度（事例紹介、質疑応答）（9月30日）
第4回目講座	： 相続と遺言、家族信託について（制度概要など）（10月19日）
第5回目講座	： 相続と遺言、家族信託について（事例紹介、質疑応答）（11月22日）

2 令和4年度金沢地域活動ホームりんごの森事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

(単位 円)

	令和4年度	令和3年度	増減	備考
障害福祉サービス等事業収益	229,814,086	202,891,740	26,922,346	ネーブル開所による利用者増
就労支援事業収益	16,322,371	18,225,548	△ 1,903,177	チョコレートの販売減
経常経費寄附金収益	100,000	0	100,000	
サービス活動収益(1)	246,236,457	221,117,288	25,119,169	
人件費	183,096,773	152,734,779	30,361,994	ネーブル開所に伴う職員の加配による増
事業費	28,360,582	19,476,118	8,884,464	ネーブル開所に伴う消耗品費、水光熱費の増
事務費	37,742,545	28,353,227	9,389,318	ネーブル、相談室賃料及び開設手数料の増
就労支援事業費用	16,578,434	20,595,912	△ 4,017,478	販売減に伴う仕入れの減、販売員の減
減価償却費	13,710,684	16,804,323	△ 3,093,639	固定資産減価償却の減
国庫補助金取崩額	△ 9,389,769	△ 12,418,113	3,028,344	
サービス活動費用計(2)	270,099,249	225,546,246	44,553,003	
収支差額(1)-(2)=(3)	△ 23,862,792	△ 4,428,958	△ 19,433,834	
サービス活動外収益(4)	7,135,709	6,801,311	334,398	
サービス活動外費用(5)	2,034,250	1,958,100	76,150	
サービス活動外増減差額(4)-(5)=(6)	5,101,459	4,843,211	258,248	
経常増減差額(3)+(6)	△ 18,761,333	414,253	△ 19,175,586	

<資料編>

1. 実施事業(令和5年3月31日現在)

	事業名	定員数(人)	現員数(人)
国事業	生活介護事業	40	75
横浜市事業	地域活動支援センター(ﾍﾞｲ型)	10	1
国事業	生活介護事業(ﾗｰｳﾞﾌﾟﾘｴｯﾀ)	10	10
国事業	就労継続支援B型事業(ﾗｰｳﾞﾌﾟﾘｴｯﾀ)	10	7
国事業	生活介護事業(ネーブル)	20	15
国事業	金沢区基幹相談支援センター		236件/月
国事業	指定特定相談支援事業(計画相談)		272
横浜市事業	ショートステイ	登録制(4床)	2.2人/日
横浜市事業	一時ケア	登録制	4.5人/日
横浜市事業	おもちゃ文庫/地域交流室		10.3人/日
横浜市事業	余暇活動		8回/年
横浜市事業	自立生活アシスタント事業	25	25
国事業	自立生活援助事業	10	2
国事業	生活困窮者アウトリーチ支援事業		1

2. 各種事業の実績と利用者の状況

①日中活動

〇りんごの森 生活介護事業・地域活動支援センター（デイサービス型） 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		20日	19日	22日	20日	22日	20日	20日	20日	20日	19日	19日	22日	243日
(昨年度)		21日	18日	22日	20日	21日	20日	21日	20日	20日	19日	18日	22日	242日
生活介護	登録者数 (下段は前年度)	88 (85)	88 (85)	89 (84)	90 (83)	89 (83)	89 (83)	89 (83)	85 (83)	75 (83)	75 (83)	75 (83)	75 (83)	
	延利用人数	963	902	1057	915	928	960	974	843	817	752	762	861	10734
		962	827	1014	916	902	916	973	900	908	853	802	1014	10987
	在宅利用人数	7	7	7	11	15	6	5	8	9	6	7	6	
	延在宅利用日数	52	45	48	56	93	51	40	52	57	47	44	48	633
	自肅人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
地域活動支援センター (デイ型)	登録者数 (下段は前年度)	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	
	延利用人数	4	3	5	4	5	4	4	4	4	8	7	10	62
		9	7	9	8	6	8	9	7	8	8	6	9	94
	在宅利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延在宅利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自肅人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体	登録者数 (下段は前年度)	89 (87)	89 (87)	90 (86)	91 (85)	90 (85)	90 (85)	90 (85)	86 (85)	76 (85)	76 (85)	76 (85)	76 (85)	
	延利用人数	967	905	1061	919	933	964	978	847	821	760	769	871	10795
		966	834	1023	924	908	924	982	907	916	861	808	1023	11076
	在宅利用人数	7	36	11	11	15	6	5	5	9	6	6	6	
	延在宅利用日数	52	45	48	56	93	51	40	52	57	47	44	48	633
	自肅人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

〇りんごの森 生活介護事業 利用者の状況

年齢階層 (歳)	利用者 (人)	障害支援区分						知的	身体	精神 と重複	知的・身体 の重複障害	
		区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当					内要医療
19～29	29	15	7	6	1	0	0	7	3	0	18	8
30～39	17	8	6	3	0	0	0	9	0	0	8	2
40～49	14	4	3	6	1	0	0	9	3	1	1	1
50～59	8	3	0	1	3	1	0	5	0	1	1	0
60以上	7	0	1	4	2	0	0	4	1	1	1	0
総数	75	30	17	20	7	1	0	34	7	3	29	11
平均年齢	37.3	40%	23%	27%	9%	1%	0%					

- ・平均年齢は、37.3 歳（昨年度は 35.8 歳）
- ・平均障害支援区分は 4.9、区分 5 以上が 63%
- ・知的・身体障害の重複障害（39%）、また医療的ケア対応（15%）となっています。

〇りんごの森 地域活動支援センター（デイサービス型） 利用者の状況

年齢 階層 (歳)	利用者 (人)	障害支援区分						知的	身体	精神 と 重複	知的・身体 の 重複障害	
		区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当				内要医療	
19～29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
50～59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
平均年齢	46	0%	0%	0%	0%	100%	0%					

・平均年齢 46歳（昨年度は45歳）

・活動状況

ネーブルの11月開所に伴い、りんごの森を利用していた12名の利用者がネーブルへ移籍し、りんごの森の空いた活動スペースに新しい班を作りました。このため、12月に活動班の再編成を行い、活動内容についても従来の外注作業及び自立課題から、手工芸へと変更しました。

またノーリフトケア（抱え上げをしない介助法）の取り組みとして、移動式電動リフトを1台追加し、2台の電動リフトによる介助を進めた結果、利用者の安全な移乗が出来るようになった他、職員の介助面での身体的な負担軽減（腰痛予防）に繋がりました。

・活動班

- a アップルベーカリー（主にパン作り）
- b アップルスイーツ（車いすの方でも参加できる菓子製造）
- c アップルファクトリー（主に制作活動）
- d アップルクラフト（主に手工芸品制作活動）
- e アップルアート（重度心身障害の方のレクリエーション的活動および制作活動）
- f アップルアラカルト（散歩や体操等動きを伴う活動）

・その他活動

- a 運動プログラム（ダイヤビック、散歩他）
- b 外販（規模を縮小。法人本部、柳町CP 各1回/月）
- c スヌーズレン
- d おやつ企画（毎月1回）

オー・ヴァリエッタ (la varietta) 生活介護事業・就労継続支援B型事業 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		20日	19日	22日	20日	22日	20日	20日	20日	20日	19日	19日	22日	243日
(昨年度)		21日	18日	22日	20日	21日	20日	21日	19日	20日	19日	18日	23日	242日
生活介護	登録者数 (下段は前年度)	10 9	10 9	10 9	10 9	10 9	10 9	10 10	10 10	10 10	10 10	10 10	10 10	10 10
	延利用人数	191	183	208	186	178	193	190	185	156	181	186	216	2253
	在宅利用人数	181	154	180	166	161	175	193	184	181	177	162	160	2074
	在宅利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延在宅利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自肅人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労継続 B型	登録者数 (下段は前年度)	5 3	5 9	5 3	5 3	5 3	5 3	5 3	6 3	6 3	6 3	7 3	7 3	7 3
	延利用人数	88	68	82	67	82	86	86	82	96	86	103	125	1051
	在宅利用人数	60	42	47	44	44	43	49	51	53	36	42	42	553
	在宅利用人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	延在宅利用人数	5	7	9	8	3	6	3	7	4	3	0	0	55
	自肅人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体	登録者数 (下段は前年度)	15 12	15 10	15 10	15 10	15 10	15 11	15 13	16 13	16 13	16 13	17 13	17 13	17 13
	延利用人数	279	251	290	253	260	279	276	267	252	267	289	341	3304
	在宅利用人数	241	196	227	210	205	218	242	235	234	213	204	202	2627
	在宅利用人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	延在宅利用人数	5	7	9	8	3	6	3	7	4	3	0	0	55
	自肅人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

オー・ヴァリエッタ (la varietta) 生活介護事業 利用者の状況

年齢階層 (歳)	利用者 (人)	障害支援区分						知的	身体	精神 と 重複	知的・身体の 重複障害	
		区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当				内要医療	
19～29	4	1	0	2	1	0	0	1	0	0	3	0
30～39	2	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0
40～49	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
50～59	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
60以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	10	3	1	5	1	0	0	5	1	0	4	0
平均年齢	37.3	30%	10%	50%	10%	0%	0%					

- ・平均年齢は 37.3 歳（昨年度は 36.7 歳）
- ・平均障害支援区分は 4.6、区分5以上が 40%

〇ラ・ヴァリエッタ (la varietta) 就労継続支援B型事業 利用者の状況

年齢階層 (歳)	利用者 合計	障害支援区分						知的	身体	精神	知的・身体 重複障害	
		区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当					内要医療
19～29	4	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0
30～39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49	2	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0
50～59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	6	0	0	1	0	0	5	5	1	0	0	0
平均年齢	29.5	0%	0%	17%	0%	0%	83%					

・平均年齢は 29.5 歳（昨年度は 35.6 歳）

・活動状況

事業所のある富岡東金井ビル3階では、以前より相談支援事業を運営していましたが、10月に能見台駅前に移転したことにより、11月からは空室となった3階を生活介護事業の活動スペースとして使用しています。活動内容もこれまでのチョコレートに関わる作業に加えて、ポスティングやはちみつの瓶詰めなどの受注作業も開始しました。

また、新型コロナウイルス感染症に配慮し、外出などは実施しませんでした。りんごの森でのおりんごピックや音楽会などに参加した他、お菓子作り等の調理活動を行いました。

〇ネーブル 生活介護事業 利用者の状況

年齢階層 (歳)	利用者 合計	障害支援区分						知的	身体	精神	知的・身体 重複障害	
		区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当					内要医療
19～29	8	2	3	2	1	0	0	8	0	0	1	0
30～39	3	1	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0
40～49	3	1	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0
50～59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60以上	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
総数	15	4	6	3	2	0	0	14	0	0	1	0
平均年齢	31.4	27%	40%	20%	13%	0%	0%					

・平均年齢は 31.4 歳

・平均障害支援区分は 4.8、区分5以上が 67%

・活動状況

令和4年11月1日にネーブルが開所しました。12名の利用者がりんごの森から移

籍し、その後 3 名の受け入れを行い、現在は 15 名で活動しています。部品の組み立てなどの外注作業や型はめ等の自立課題を提供するとともに、一人ひとりに合わせた分かりやすい支援を行っています。また、受注作業やエアロバイクなどの運動プログラムも取り入れて実施しています。

②相談支援事業

○特定相談支援事業（計画相談） 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	270	269	271	271	271	270	270	270	270	270	270	272	
（昨年度）	(258)	(259)	(260)	(263)	(263)	(263)	(263)	(262)	(262)	(262)	(264)	(265)	
計画案作成	12	8	12	12	15	24	15	24	18	25	19	34	218
	(14)	(8)	(18)	(13)	(13)	(21)	(13)	(21)	(20)	(22)	(22)	(33)	(218)
モニタリング	62	70	69	66	65	68	43	52	65	53	59	62	734
	(54)	(60)	(64)	(64)	(59)	(69)	(47)	(44)	(53)	(55)	(44)	(64)	(677)

・活動状況

新型コロナウイルス感染症への配慮から、家庭訪問及び事業所訪問は必要に応じて実施しました。ご高齢の方等が家族内にいる際には、了承を得てから訪問を実施しました。

令和5年1月より、下記加算を算定開始しています。

「行動障害支援体制加算」「精神障害者支援体制加算」「主任相談支援専門員配置加算」

○金沢区基幹相談支援センター（上半期実績）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
相談件数内訳	相談件数 (昨年度)	226 (219)	243 (211)	208 (265)	192 (170)	224 (172)	258 (232)
	うち金沢区	209	241	200	157	214	250
	実人員	89	96	91	86	88	86
	成人	76	82	78	76	75	73
	うち金沢区	75	80	75	76	74	66
	児童	13	14	13	10	13	13
	うち金沢区	12	14	13	10	13	12
新規・相談経路（実人員）	新規	10	11	12	9	12	3
	継続	79	85	79	77	76	83
	本人・家族	5	4	3	2	7	0
	学校	2	0	2	1	0	0
	区役所CW、MSW	1	1	3	1	1	1
	他区地域活動ホーム、日中活動先	0	2	2	0	0	0
	後見的支援室、計画相談事業所	1	0	1	1	2	0
	訪問系サービス	0	0	0	0	0	0
障害種別（延件数）	その他	1	4	1	4	2	2
	身体障害	14	11	4	5	16	7
	知的障害	118	135	114	91	103	114
	精神障害	53	51	42	52	52	89
	重心	2	2	0	0	1	0
	高次脳機能障害	7	7	7	7	13	12
	発達障害等	15	15	19	20	19	20
相談内訳（延件数）※複数カウント	不明	17	22	22	17	20	16
	障害種別(小計)	226	243	208	192	224	258
	福祉サービスの利用等に関する支援	100	118	96	89	112	117
	障害や病状の理解に関する支援	20	37	39	33	32	54
	健康・医療に関する支援	64	77	67	73	79	94
	不安の解消・情緒安定に関する支援	35	40	38	44	49	76
	保育・教育に関する支援	2	3	3	1	4	5
	家族関係・人間関係に関する支援	15	26	21	23	28	48
	家計・経済に関する支援	14	17	10	8	13	15
	生活技術に関する支援	12	9	29	20	19	32
	就労に関する支援	8	3	18	16	22	14
	社会参加・余暇活動に関する支援	11	11	11	6	10	9
	権利擁護に関する支援	1	1	0	0	1	4
	視覚障害者等情報弱者への朗読等支援	0	0	0	0	0	0
	ピアカウンセリング	0	0	0	0	0	0
個別支援会議（サービス担当者会議）		4	2	7	5	8	9
地域自立支援協議会（定例会議・部会・打ち合わせ）		4	8	9	11	10	10
基幹相談支援センター連絡会		2	2	2	2	3	2
（基幹）金沢区関連の連絡会議		3	3	3	3	3	3
（基幹）その他の関係機関連絡会議		2	2	8	1	2	2

○金沢区基幹相談支援センター（下半期実績）

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談件数内訳	相談件数 (昨年度)	219 (176)	262 (226)	250 (192)	237 (238)	245 (181)	270 (212)
	うち金沢区	213	252	245	241	242	259
	実人員	87	101	102	100	109	82
	成人	78	84	89	85	90	71
	うち金沢区	75	80	87	84	87	69
	児童	9	17	13	15	19	11
	うち金沢区	9	16	13	14	19	11
新規・相談経路（実人）	新規	11	7	8	6	12	5
	継続	76	94	94	94	97	77
	本人・家族	4	5	5	5	6	1
	学校	0	1	0	0	2	1
	区役所CW、MSW	2	0	1	0	1	1
	他区地域活動ホーム、日中活動先	2	0	0	0	0	2
	後見的支援室、計画相談事業所	1	0	1	0	0	0
	施設	0	0	0	0	0	0
障害種別（延件数）	その他	2	1	1	1	3	1
	身体障害	3	2	8	5	3	4
	知的障害	123	142	135	122	107	116
	精神障害	53	64	60	66	79	78
	重心	1	2	0	0	0	0
	高次脳機能障害	8	1	0	0	0	0
	発達障害等	17	24	26	18	25	33
	不明	14	27	21	26	31	39
相談内訳（延件数）※複数カウント	障害種別（小計）	219	262	250	237	245	270
	福祉サービスの利用等に関する支援	105	108	99	105	135	152
	障害や病状の理解に関する支援	36	60	46	56	49	50
	健康・医療に関する支援	82	106	98	105	92	100
	不安の解消・情緒安定に関する支援	50	73	64	64	66	61
	保育・教育に関する支援	4	6	6	2	13	1
	家族関係・人間関係に関する支援	40	47	46	44	48	52
	家計・経済に関する支援	15	27	39	28	22	36
	生活技術に関する支援	19	27	26	15	22	14
	就労に関する支援	18	24	15	22	21	13
	社会参加・余暇活動に関する支援	10	14	17	12	7	10
	権利擁護に関する支援	2	1	4	4	1	5
	視覚障害者等情報弱者への朗読等支援	0	0	0	0	0	0
	ピアカウンセリング	0	0	0	0	0	0
	個別支援会議（サービス担当者会議）	5	8	5	4	3	9
	地域自立支援協議会（定例会議・部会・打合せ）	9	8	9	9	6	5
	基幹相談支援センター連絡会	2	3	2	2	3	1
	（基幹）金沢区関連の連絡会議	3	3	3	3	4	3
	（基幹）その他の関係機関連絡会議	2	5	5	3	6	2

・活動状況

コロナ過が落ちつき始めたこともあり、ケース対応や自立支援協議会の運営、研修会の企画等を、コロナ禍前の事業内容に近づけるよう工夫しました。

金沢区障害者地域自立支援協議会は、年度当初に予定した部会・連絡会のスケジュール通りに実施しました。昨年度に引き続き、顔の見える関係づくりや情報共有だけでなく、所属事業所の方々のニーズに合わせた勉強会や研修会として、8月「応用行動分析研修会」、11月「BWAP2（アセスメントツールの一つ）研修会」を支援力の向上を目的として実施。10月には「意思決定支援から考える虐待防止」研修会を実施し、昨年度より実施が義務化された虐待防止研修に活用してもらえよう機会を設けました。

また、障害のある方やそのご家族・テーマに関心のある地域住民に向けて、「親あるうちの準備を考える連続講座～将来の備えを考える～」を、7月から11月にかけて講座5回を実施し、Youtubeを使った後日視聴の機会も設けることで、多くのご参加がありました。

今後も地域生活支援拠点機能の整備と拡充に向け、地域の事業所の理解と意識向上のために、自立支援協議会や事業所訪問等を通して周知活動や検討の機会を持っています。障害福祉分野だけでなく、他分野（高齢・学校・地域等）ともつながりを持つことで、地域全体で障害のある方を支えられるような体制の構築を目指します。

相談登録者に関しては、計画相談利用の普及に伴い、サービスにつなげていない精神障害や発達障害の方、支援が困難な行動障害の方、本人や家族の高齢化等に伴い状況が変化した方の相談が増えてきています。そのため、計画相談員のバックアップをするだけでなく、専門機関である二次相談機関（発達障害者支援センター等）や他職種（病院ソーシャルワーカー等）と連携して対応しています。今後も関係機関との相互協力のもと支援していきます。

③横浜市地域生活支援事業

〇一時ケア・ショートステイ 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
一時 ケア	件数 (下段は前年度)	140	146	141	149	131	150	151	131	129	131	113	130	1642
		(128)	(139)	(133)	(155)	(140)	(110)	(130)	(139)	(126)	(130)	(121)	(137)	(1588)
一時 ケア	時間数	370	409	344	387.5	396.5	397.5	393	292	326	318	270.5	284	4188.0
		(297)	(365)	(304)	(431)	(444)	(264)	(336)	(342)	(300.5)	(345)	(316)	(345)	(4089.5)
SS	件数 (下段は前年度)	61	69	71	69	58	72	69	62	62	67	63	70	793
		(65)	(68)	(70)	(84)	(58)	(60)	(67)	(67)	(62)	(73)	(54)	(61)	(789)

・活動状況

一時ケアは件数、時間数とも前年度より増加しています。

ショートステイは 793 泊の実績となりました。利用目的としてレスパイトでの継続利用は昨年度と同様の件数でした。

10 月以降、複数名が施設入所等により利用が無くなりましたが、新規利用やレスパイト以外での利用が増加しています。年間利用件数は昨年度より微増となっています。

金沢区基幹相談支援センターや地域の計画相談事業所との連携の中での体験利用受け入れや緊急時の受け入れ態勢の確保等、ご本人やご家族が安心出来るよう支援しました。

○おもちゃ文庫 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数 内訳	児童 (下段は昨 年度実績)	74	51	80	132	134	109	123	111	120	117	133	151	1335
		78	67	82	72	39	0	80	114	113	91	96	117	949
	保護者 (下段は昨 年度実績)	63	48	60	106	107	104	109	98	102	104	117	139	1157
		56	59	66	62	32	0	65	92	86	65	73	92	748
合計 (下段は昨年度実績)		137	99	140	238	241	213	231	209	222	221	250	290	2491
		134	126	148	134	71	0	145	206	199	156	169	209	1697

・活動状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の為、事前予約制にて 1.5 時間を 1 単位とした 3 回交代制、1 単位あたり上限 6 名の人数制限を設けて、実施しました。

毎年恒例のプール等の企画イベントについては、コロナ禍のため、中止としました。

2 月より第 2 月曜日午後に、りんごタイム（発達に不安のあるお子様とその兄弟児を対象にした時間）を開始し、気兼ねなく利用することが出来ています。

○余暇活動 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数 (下段前年度)	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	0	0	0	0	(8)
参加人数 (下段前年度)	0	0	0	4	5	4	4	5	4	3	4	4	37
	(5)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	0	0	0	0	(33)

・活動状況

4 月から 6 月は新型コロナウイルス感染状況を考慮し開催を中止としました。その後、感染者状況などを考慮し、7 月より毎月 1 回手工芸製作を中心とした余暇活動を実施しました。次年度も毎月 1 回、手工芸製作を中心とした余暇活動を計画しています。

7 月（ランプを作ろう）、8 月（映画鑑賞）、9 月（フォトフレームを作ろう）、10 月

(ハロウィンの飾りを作ろう)、11月(映画鑑賞)、12月(クリスマスの飾りを作ろう)、
1月(スノードームを作ろう)、2月(映画鑑賞)、3月(アロマキャンドルを作ろう)

④自立生活アシスタント事業 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録人数	25	24	24	24	24	23	23	24	24	24	24	25	288
	(27)	(27)	(26)	(26)	(25)	(24)	(23)	(23)	(24)	(24)	(24)	(24)	(297)
面接(来所)	7	3	3	10	9	7	8	9	9	4	8	7	84
	(8)	(19)	(12)	(12)	(6)	(3)	(7)	(5)	(6)	(7)	(8)	(12)	(105)
電話・メール等	28	35	23	15	47	31	81	70	62	87	70	44	593
	(142)	(69)	(61)	(91)	(90)	(99)	(67)	(67)	(72)	(69)	(43)	(51)	(921)
訪問	45	34	40	54	51	48	49	54	47	49	56	59	586
	(35)	(35)	(42)	(38)	(24)	(34)	(31)	(28)	(30)	(26)	(33)	(20)	(376)
同行	39	37	28	42	49	53	40	52	53	38	27	35	493
	(38)	(37)	(32)	(22)	(28)	(28)	(44)	(36)	(39)	(27)	(31)	(28)	(390)
その他 カンファレンス	27	19	23	27	4	0	0	0	0	1	1	1	103
	(6)	(3)	(19)	0	(14)	0	(4)	(4)	0	(5)	(5)	(11)	(71)

・活動状況

令和4年4月1日時点で登録者24名。年度内における新規登録者3名、解除は2名、
令和5年3月末で25名。

⑤自立生活援助事業 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約人数	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21
	(1)	(4)	(4)	(4)	(4)	(5)	(4)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(41)
面接(来所)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	0	(2)	(3)
電話・メール等	6	3	0	1	0	0	0	2	1	1	1	1	16
	(12)	(8)	(5)	(5)	(23)	(11)	(11)	(21)	(10)	(8)	(5)	(22)	(141)
訪問	8	3	3	8	5	9	7	5	8	4	5	4	69
	(23)	(18)	(10)	(15)	(17)	(13)	(13)	(12)	(14)	(9)	(8)	(13)	(165)
同行	3	5	2	1	1	2	0	0	4	0	1	0	19
	(11)	(8)	(6)	(9)	(11)	(12)	(11)	(8)	(11)	(4)	(2)	(6)	(99)
その他 カンファレンス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	0	0	(2)	0	(2)	(2)	0	(1)	0	0	0	(8)

(4月5月は、前年度終了者のアフターフォローの支援も含まれる。)

・活動状況

令和4年4月1日時点で、登録者なし。年度内における新規登録者2名(4月と
7月)、解除はなし、令和5年3月末で2名。

⑥生活困窮者アウトリーチ支援事業

区の生活支援課と一体となって家計改善や見守り等を主な目的として定期的な月一回の家庭訪問を行いました。現在の対象者は1名となっています。

3. 研修

①法人内研修

研修名	参加者数
新任職員研修 階層別研修※ 虐待防止（身体拘束適正化を含む）研修 ハラスメント防止研修 リスクマネジメント研修 自閉症に関する内部研修（全7回） ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため ZOOM 使用	延べ 179 名

②外部研修

研修名	参加者数
サービス管理責任者研修（補足研修） サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修 行動援護従事者研修 自閉症基礎セミナー ノーリフトケアコーディネーター養成講座 精神保健基礎研修 安全運転管理者研修 自閉症 e サービス@かながわ評価セミナー 横浜型医療ケア児・者等支援者養成研修 第3号医療的ケア（特定の者対象）研修 家族支援を考える～精神疾患のある家族を含む世帯支援～ TEACCH トピックセミナー 医療ケア児の遊びについて 障害者基礎研修～利用者本人の「思い」に寄り添うために 生活支援の現場から知る大人の発達障害 子育て応援講演会「地域のみんなで子育て」のためにできること 食品衛生責任者実務講習会 TOY らいぶらりあん養成講座専門研修 新卒2・3年目フォローアップ研修 横浜市相談支援研修Ⅰ・Ⅱ	延べ 41 名

HACCP の「はじめの一步」ここから始める HACCP セミナー 神奈川県障害者相談支援従事者現任研修 看護師・支援員スキルアップ研修 令和 4 年度主任相談支援専門員養成研修 横浜市強度行動障害支援者養成研修(実践研修) 地域で考える身寄り無し問題 精神障がいの知識と理解 専門コース別研修 地域移行・地域定着 神奈川県障害者相談支援従事者現任研修等	
---	--

4. その他

・苦情解決

(1) 件数 0件 (令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

(2) 内容 (件)

苦情の内容	令和 4 年度	令和 3 年度
① 虐待・放置・脅迫・搾取に関する事	0	0
② サービス・支援内容に関する事	0	0
③ 個人の嗜好・選択に関する事	0	0
④ 利用者の所持金等に関する事	0	0
⑤ その他	0	0
計	0	0

令和4年度 地域支援センター 事業報告

概説

地域支援センターは、グループホームの管理運営（13 棟）、ケアステーション心海（ヘルパー派遣事業）、金沢区障害者後見的支援室帆海の3つの事業を展開しています。

令和4年度も、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防に配慮しつつ、各事業の安定運営に努めました。複数のグループホームで感染者が発生しましたが、重症化することなく回復されています。

（新型コロナウイルス感染状況）

感染者		濃厚接触者	
60 名		45 名	
職員	利用者	職員	利用者
30 名	30 名	11 名	34 名

（各事業の概要）

①グループホーム利用者状況 ※13 棟に 67 名の利用者が入居中

新型コロナウイルス感染症の流行状況を見ながら、徐々に日常の活動を再開できるように取り組みながら運営を行いました。

年齢階層	構成（人）	肢体 不自由	自 閉	発 作	障害支援区分					計
	総数				6	5	4	3	2	
総数	67	12	23	21	40	11	12	3	1	67
平均年齢	49.9 歳									

②ケアステーション心海

令和4年度は、行動援護の稼働時間数を増やしていけるように運営を進めました。

	令和4年度	令和3年度
登録ヘルパー数（人）	25	24
移動支援総稼働時間（h）	1998.5	2145.5
行動援護総稼働時間（h）	1862.0	1511.0
稼働時間合計	3860.5	3656.5

③金沢区障害者後見的支援推進事業

新型コロナウイルス感染症防止のため、訪問・面談等で業務の制約を受けましたが、登録者に寄り添った運営を行いました。

	令和4年度	令和3年度
登録者数（人）	86	84

1. 重点項目の実施状況

（1）地域支援センター内の人材育成の強化＜各事業共通＞（継続）

新型コロナウイルス感染症の影響はありつつも外部研修が再開されてきたこともあり、職員育成に向けて積極的に研修派遣を行いました。

また、虐待防止委員会においては、職員のセルフチェックシートを実施することで、日々の業務について一人ひとりが振り返りを行い、職員間で困りごとを共有することができました。

各委員会活動では、課長補佐・主任を中心とした運営を行うことで、リーダーシップを発揮しながら、職員間のコミュニケーション促進に繋がれるよう取り組みました。

【各委員会の活動状況】

研修委員会	地域支援センター年間計画に沿った外部研修への派遣（階層別研修、スキルアップ研修、サービス管理責任者等の資格研修など）、および、サポーターズカレッジ受講勧奨をしました。
防災委員会	各グループホームにおける避難訓練、および、センター・グループホーム間でのIP無線を使った通信訓練を実施しました。
中長期委員会	個別支援計画等の様式の見直しと変更を行うことで、職員の業務改善に繋がりました。
虐待防止委員会 （身体拘束適正化委員会含む）	職員にセルフチェックシートを実施することにより、日々の業務の振り返りを行った。また、地域支援センターの虐待防止マニュアルの作成を行った。
事業担当委員会	行事等に関して、職員を招集して取組むことで、職員間でのコミュニケーション作りを促進することができました。

（2）共同生活援助事業（グループホーム）の支援の充実と安定的運営（継続）

日常生活においては、手指の消毒、マスクの着用、空気清浄機やアクリル板の設置などの感染予防対策を行いながら、徐々に行事等を再開していきました。昨年度まで中止していたグループホーム旅行については、今年度は日帰り旅行として再開しました。

ご家族等への会計報告会は前年度に引き続き中止としましたが、ご家族と管理職との面談は再開し、利用者の様子を報告し、要望を伺ったりしながら信頼関係の維持に努めました。

令和5年2月に、13カ所目のグループホーム「海来（みらい）」（定員5名）を開設しました。航に入所していた3名の方と、在宅で生活していた2名の方が入居されました。また、平成18年に開設したグループホーム「歩海（あゆみ）」が老朽化したこと

に伴って、令和5年5月に移転する予定としています。

(3) ケアステーション心海（ヘルパー派遣）の拡大（継続・拡大）

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、外出先等に配慮しながら積極的に事業運営を進めました。昨年度より事業を開始した行動援護（※国事業）については、可能な限り移動支援（※市事業）から切り替えを図ることによって、経営安定化に努めました。

また、ガイドヘルパーの獲得に向けて、新型コロナウイルスの影響により昨年度まで中止していた「ガイドヘルパー養成研修」を再開し、13名の受講がありました。

※ 行動援護：重度の知的障害のある方が外出時に危険（飛び出し・自傷・他害等）を回避する等の支援を行う事業

（稼働時間数）

	令和4年度	令和3年度
「移動支援」利用者※延べ人数	832	907
「行動援護」利用者※延べ人数	773	633
利用者数合計	1605	1540
「移動支援」稼働時間数	1998.5	2145.5
「行動援護」稼働時間数	1862.0	1511.0
稼働時間数合計	3860.5	3656.5

(4) 横浜市後見的支援室・帆海の普及啓発（継続・拡充）

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、地域ケアプラザや民生委員・児童委員協議会等での制度説明や周知活動を再開していきましました。登録者との面談や訪問も再開していき、86名の登録者となっています。

※ 横浜市障害者後見的支援推進事業：民法上の成年後見制度とは異なり、障害のある方を地域で訪問しながら見守る横浜市独自の制度

2. 令和4年度 地域支援センター事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表（3事業の合計）

（単位：円）

	令和4年度	令和3年度	増減	備考
障害福祉サービス等事業収益	418,457,665	394,671,606	23,786,059	海来設置費補助金・利用者増等
経常経費寄附金収益	0	0	0	
サービス活動収益計（1）	418,457,665	394,671,606	23,786,059	
人件費	300,187,568	293,413,704	6,773,864	常勤・非常勤職員昇給 非常勤社会保険加入
事業費	75,546,816	72,067,822	3,478,994	災害時備蓄品購入 海来開設新設備
事務費	23,973,528	24,667,523	△693,995	
減価償却費	3,206,245	3,419,284	△213,039	
国庫補助金取崩額	△1,619,039	△1,781,230	192,191	
サービス活動費用計（2）	401,295,118	391,787,103	9,508,015	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	17,162,547	2,884,503	14,278,044	
サービス活動外収益（4）	744,862	543,940	200,922	
サービス活動外費用（5）	0	10,100	△10,100	
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	744,862	533,840	211,022	
経常増減差額(3)+(6)	17,907,409	3,418,343	14,489,066	

<資料編>

実施事業（令和5年3月31日現在）

（１）共同生活援助事業（グループホーム）※国事業

①各グループホーム概要

R5.3 末現在（ ）内は前年度実績（以下、同様）

	事業所名	定員(人)	現員(人)	所在地	運営開始時期
1	晴海	5(5)	5(5)	金沢区釜利谷東	平成16年4月1日
2	なかなかホーム	5(5)	5(5)	中区本郷町	平成16年4月1日
3	拓海	5(5)	5(5)	金沢区大道	平成17年4月1日
4	歩海	4(4)	4(4)	金沢区釜利谷南	平成18年4月1日
5	希海	5(5)	5(5)	金沢区六浦	平成19年4月1日
6	つばき	6(5)	6(5)	金沢区朝比奈	平成20年10月1日
7	いづみ	5(5)	5(5)	泉区和泉中央北	平成22年4月1日
8	アイリス	5(5)	5(5)	泉区和泉中央南	平成22年4月1日
9	はま風	5(5)	5(5)	金沢区釜利谷東	平成23年3月1日
10	岬	5(5)	5(5)	金沢区釜利谷東	平成24年1月1日
11	灯	6(6)	6(6)	金沢区釜利谷東	平成26年4月1日
12	海翔	6(6)	6(6)	金沢区六浦	平成30年11月1日
13	海来	5(-)	5(-)	金沢区釜利谷東	令和5年2月1日
合 計		67(62)	67(62)		

②利用者状況

	事業所名	構成(人) 総数	平均 年齢 (歳)	肢 体 不 自 由	自 閉	発 作	障害支援区分					
							6	5	4	3	2	平均
1	晴海	5	57.0 (56.0)	0	2	1	2	1	2	0	0	5.0 (5.0)
2	なかなか ホーム	5	48.2 (47.2)	1	1	1	1	3	1	0	0	5.0 (5.0)
3	拓海	5	52.0 (51.0)	1	2	0	4	1	0	0	0	5.8 (5.8)
4	歩海	4	60.5 (59.5)	1	0	1	3	1	0	0	0	5.7 (5.7)

5	希海	5	48.6 (47.6)	1	2	1	3	2	0	0	0	5.6 (5.6)
6	つばき	6	53.3 (52.3)	1	1	3	2	1	1	2	0	4.5 (4.4)
7	いづみ	5	41.4 (40.4)	0	3	1	3	0	2	0	0	5.2 (5.2)
8	アイリス	5	51.2 (50.2)	2	0	2	0	2	2	0	1	4.0 (4.0)
9	はま風	5	52.2 (51.2)	0	1	2	5	0	0	0	0	6.0 (6.0)
10	岬	5	44.2 (43.2)	2	2	4	4	0	1	0	0	5.6 (5.6)
11	灯	6	59.0 (58.0)	3	0	2	4	0	2	0	0	5.3 (5.3)
12	海翔	6	39.5 (38.5)	0	4	2	4	0	1	1	0	5.2 (5.0)
13	海来	5	42.8	0	5	1	5	0	0	0	0	6.0
総数		67(62)	49.9 (49.5)	12	23	21	40 (35) (59%)	11 (11) (16%)	12 (11) (17%)	3 (2) (4%)	1 (2) (1%)	5.3 (5.2)

③利用者年齢階層

年齢階層	構成（人） 総数	肢体 不自由	自 閉	発 作	障害支援区分					計
					6	5	4	3	2	
19以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	4	0	3	0	1	0	2	1	0	4
30～39	8	1	2	3	2	1	4	0	1	8
40～49	21	4	9	6	19	2	0	0	0	21
50～59	24	4	9	12	15	4	3	2	0	24
60以上	10	3	0	0	3	4	3	0	0	10
総数	67	12	23	21	40	11	12	3	1	67
平均年齢	49.9歳									

＊利用者の障害支援区分は、最重度(区分6及び5)の利用者が全体で76.1%。

(前年度は74%、前々年度は75%。)

＊利用者の平均年齢は 49.9 歳。（前年度は 49.5 歳）

＊海来が令和 5 年 2 月に開所し、5 名が新たに入居した。5 名のうち 3 名が航からの地域移行で、2 名が地域公募からの選考による入居であった。

（２）行動援護事業・横浜市移動支援事業

①行動援護事業

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者数	人	24	24	24	23	22	22	22	22	22	22	22	22	22
R3.3.31(23)		+1	0	0	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	-1
延べ稼働 利用者数	人	65	66	67	62	53	59	73	70	62	62	65	69	773
		(54)	(52)	(58)	(53)	(32)	(43)	(68)	(57)	(61)	(58)	(48)	(64)	(648)
稼働 時間数	時 間	149.0	166.0	163.0	162.0	125.0	145.0	177.0	163.0	142.0	152.0	162.0	156.0	1862.0
		(129.5)	(117.0)	(126.0)	(170.0)	(104.0)	(107.5)	(153.5)	(162.0)	(139.5)	(146.0)	(113.0)	(139.0)	(1607.0)

②横浜市移動支援事業

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者数	人	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	66	65
R4.3.31(65人)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	+1
延べ稼働 利用者数	人	75	76	69	77	49	65	77	63	62	68	64	87	832
		(88)	(85)	(69)	(76)	(70)	(67)	(83)	(86)	(74)	(82)	(59)	(80)	(919)
稼働 時間数	時 間	178.5	191.0	146.0	171.0	116.0	153.0	187.0	143.0	167.0	183.0	152.0	211.0	1998.5
		(196.0)	(204.5)	(162.5)	(177.0)	(176.0)	(157.5)	(180.0)	(197.0)	(179.0)	(205.0)	(163.0)	(198.0)	(2195.5)

③登録ヘルパー数

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総登録者数	人	22	24	24	24	22	22	25	23	23	23	25	26	26
R4.3.31(22人)		0	+2	0	0	-2	0	+1	+1	-1	0	+2	0	+3
行動援護ヘルパー	人	12	12	11	11	11	13	13	12	12	12	11	12	12
R4.3.31(14人)		-2	0	-1	0	0	+2	0	-1	0	0	-1	+1	0
移動支援ヘルパー	人	15	21	18	18	18	15	19	19	18	18	18	21	21
R3.3.31(26人)		-11	+6	-3	0	0	-3	+4	0	-1	0	0	3	+6

(3) 横浜市障害者後見の支援推進事業（金沢区障害者後見の支援室 帆海）

①相談受付・訪問

内 容		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
制度案内	件	1	0	1	1	1	1	2	3	3	3	4	5	25
		(2)	(3)	(2)	(1)	(1)	(4)	(2)	(3)	(2)	(3)	(1)	(1)	(25)
2		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	
(3)		(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(29)	
0		0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	4	
(1)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(4)	
登録者訪問・ 面談		57	54	47	49	44	44	50	52	51	51	50	60	609
その他		2	1	0	0	2	2	1	3	1	0	0	1	13
計		62	57	49	51	48	49	54	59	56	56	56	68	665

②登録者数

内 容	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者	人	84	84	84	82	81	81	78	80	80	83	84	86	86
R5.3 (84人)		0	0	0	-2	-1	0	-3	+2	0	+3	+1	+2	+2

※令和4年度は新規登録者が9名、登録解除者は6名

③周知活動

内 容		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
制度説明	件	0	0	3	0	0	1	0	2	1	0	0	0	7
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(1)	(3)
2		1	0	0	2	2	1	3	1	0	0	1	13	
(2)		(0)	(1)	(0)	(2)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(2)	(9)	
関係施設等 訪問														
計		2	1	3	0	2	3	1	5	2	0	0	1	20

(4) その他

①事故件数

ア. 共同生活援助事業（グループホーム）

①転倒		②外傷		③誤与薬・怠薬		④新型コロナ				⑤その他		
通院 あり	様子 観察	通院 あり	様子 観察	怠薬	誤与 薬	陽性		濃厚 接触		入院	破損	紛失
						職員	利用者	職員	利用者			
3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (3)	4 (1)							
3 (1)		0 (0)		8 (4)		30 (4)	30 (2)	11 (8)	34 (8)	4 (2)	1 (1)	0 (1)

※事故件数は11件で、誤与薬、怠薬で過半数を超えていた。事故報告を基にした原因分析をし、改めて服薬マニュアルの確認を行った上で再発防止に取り組んだ。

※新型コロナウイルス関係では、感染者が60名、濃厚接触者が45名であった。

イ. 行動援護事業・横浜市移動支援事業（ケアステーション心海）

ヘルパー誤派遣	誤与薬・怠薬	利用者不明金
0 (0)	1 (1)	1 (1)

②苦情解決

- ・苦情件数1件（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
- ・苦情内容

内容	令和4年度	令和3年度
①虐待・放置・脅迫・搾取に関する事	0件	0件
②サービス・支援内容に関する事	1件	1件
③個人の嗜好・選択に関する事	0件	1件
④利用者の所持金に関する事	0件	0件
⑤その他	0件	2件
合計	1件	4件

令和 4 年度 釜利谷地域ケアプラザ事業報告

概説

令和 4 年度は、新型コロナウイルスに対する感染予防対策を行いながら、活動を再開する団体も増えてきたため、各事業の活動を通して地域の方たちが交流できる機会を推進してきました。

11 月には釜利谷地域ケアプラザデイサービスにおいて新型コロナウイルス感染の拡大があり、拡大防止措置のため 9 日間休業しました。また、認知症対応型通所介護「やまゆり」においても 2 日間休業するなど、経営に大きな影響がありました。休業中は、希望される方へ昼食（お弁当）の配達や毎日の電話連絡などを行い、ご利用者が不安にならないよう努めました。

また、釜利谷地域ケアプラザデイサービスでは前年度からの経営悪化に伴い、経営コンサルタントの導入を行いました。アドバイスを活かして様々な工夫を行ったことで、コロナによる休業はありましたが、年間の利用者数が前年度を上回り、回復の兆しがわずかに見えてきました。

1 重点項目

(1) 地域活動・交流事業

新規事業として、地域包括支援センターと生活支援体制整備事業との共催で「グリーンフケア（深い悲しみへのケア）」、デイサービスとの協働で「ドッグセラピー」、西金沢地域ケアプラザとの共催で「父親向け育児講座」を開催しました。地域活動交流単独の事業としては男性が一人でも参加がしやすく、釜利谷の歴史の語り部としての地域資源の育成も目指している講座「釜利谷の歴史を探る会」を開催しました。また、コロナ下で一時休止していた障がいのある方向け「かまもりやボランティアポイント」を再開しました。

「かまもりホルダー（見守りホルダー）」「認知症の普及啓発」「よこはまシニアボランティアポイント事業促進」「消費者被害防止」等については引き続き、地域包括支援センターと生活支援体制整備事業と協働で事業を行い、地域の幅広い住民層に向けて積極的な事業展開を行うことができました。

(2) 地域包括支援センター事業

引き続き新型コロナウイルス感染症防止に留意しながら総合相談を行いました。また、地域ケア会議や介護予防等の各種事業も感染予防対策の中、実施しました。地域活動・交流事業と生活支援体制整備事業と共催の事業では年代を問わず参加できる事業を多く行い、多世代交流にも努めました。地域ケア会議では、近年相談が多い 8050 問題（80 代の親と 50 代の子が孤立することで生じる生活問題）の事例を取り上げ、「相談先がわかりづらい」という意見から“8050 問題を抱える世帯を想定した相談

先がわかるリスト”を金沢区生活支援課の協力を得て、1年かけて作成を行い、釜利谷地域ケアプラザエリアのケアマネジャー、民生委員・児童委員など、関係する支援者に配布しました。

総合相談件数

	電話・その他	来所	訪問	合計
令和4年度	2,205	402	337	2,944
令和3年度	1,513	392	218	2,123
増減	692	10	119	821

(3) 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）

高齢者が住み慣れた地域で役割や生きがいを持ち、自分らしい生活を送ることが出来るよう、地域の助け合いや社会参加による介護予防を地域住民・多職種で取り組んできました。コロナ下でも地域に出向き、コーディネーターが得た釜利谷エリアの地域活動の情報をまとめ、横浜市が推進している情報ソフトへの情報整理（許可が得られた団体のみ）を進め、住民の方が介護保険サービスだけではない活用できる情報としてまとめています。

(4) 指定居宅介護支援事業（介護予防・総合事業を含む）

新型コロナ感染拡大が3年以上続き、人との交流や外出が減っている事で、気分が落ち込んでいる方、日常生活の活動量の低下から筋力が低下している方が増えていました。その中で感染に注意しながら、電話や訪問を通して必要な提案や調整を行い、在宅で生活が継続できるよう支援を行いました。

令和4年度は、特にご利用者本人だけでなく、介護するご家族も支援する「家族まるごと支援」の体制を念頭に置き、ガン末期の方や医療依存度の高い方、重度の認知症、いわゆるゴミ屋敷と言われるような環境にいる方の支援をしてきました。

介護保険制度だけでは解決できない多くの課題を抱えるご家庭や、ご本人・ご家族の就職の支援など他の専門職の介入が必要な相談も多く、地域包括支援センターをはじめ、行政、病院など多職種と連携しながら支援を継続しました。

【居宅介護支援事業の状況】

●一人当たりの担当件数の上限は介護・予防合わせて39件 ●1か月あたりの上限件数は 148件

介護ケアプラン作成数（要介護1～5）	1,497件（前年度比 115件）
介護予防ケアプラン作成数（要支援1～2）	370件（前年度比 ー58件）

(5) デイサービス事業

釜利谷地域ケアプラザデイサービスでは、総利用者数が9,462名で前年度比368名の増加となりました。6月には、開所以来初の床の張替え工事によりデイルームの環

境整備を行いました。また、経営改善に向け、8月から経営コンサルタントを導入し、これまでにない視点で利用者増に向けての検討・実践を重ねています。活動としては「ドッグセラピー」を定期的を実施し、犬とのふれあいによって気持ち穏やかに過ごしていただける時間をつくりました。

外部（家族、ケアマネジャー）に向けての情報の発信については、その重要性を改めて確認しました。今後もサービス内容を継続して振り返り、検討を重ね、安定したデイサービスの運営をめざしていきます。

認知症対応型通所介護「やまゆり」では、新規利用者よりも終了される方の人数が多く、前年度よりも460名減少となりました。新型コロナウイルス感染予防の為、控えていた居宅介護支援事業所へのアピール、また、季節に合わせた行事も再開し、改めて関係性を高め、利用者増につなげていきます。

	延べ利用者数	前年度比	定員/日	平均利用者/日
通所介護事業	9,462人	368人	40	27
認知症対応型やまゆり	2,416人	△460人	12	7.8

2 令和4年度事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表（含むやまゆり）

（単位円）

	令和4年度	令和3年度	増減	備考
介護保険事業収益	232,680,430	222,720,438	9,959,992	物価高騰補助金 指定管理料返還額の減
サービス活動収益計(1)	232,680,430	222,720,438	9,959,992	
人件費	183,267,964	179,688,432	3,579,532	年度末賞与増・非常勤保険加入者増
事業費	32,183,982	30,461,808	1,722,174	介護ロボ・おしぼりリース
事務費	34,643,357	28,743,957	5,899,400	床張替工事・原油高騰
減価償却費	1,814,208	1,923,384	▲ 109,176	
国庫補助金等特別積立金取崩額	96,110	96,110	0	
サービス活動費用計(2)	251,813,401	240,721,471	11,091,930	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	▲ 19,132,971	▲ 18,001,033	▲ 1,131,938	
サービス活動外収益計(4)	2,104,995	3,042,094	▲ 937,099	
サービス活動外費用計(5)	1,146,825	1,122,950	23,875	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	958,170	1,919,144	▲ 960,974	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	▲ 18,174,801	▲ 16,081,889	▲ 2,092,912	

＜資料編＞

1 事業別報告

(1) 地域活動交流事業

第4期福祉保健計画の基本理念である「誰もが安心して健やかに住み続けられる支えあいのまちづくり」の実現に向けて、また、地域の誰もが利用できる施設として、さまざまな分野の教室・講座の開催と、コロナ禍においても安心して利用し活動のできる場の提供を行いました。

※実施状況は別紙

(2) 地域包括支援センター事業

① 総合相談支援事業

ア 総合相談件数

	電話・その他	来所	訪問	合計
令和4年度	2,205	402	337	2,944
令和3年度	1,513	392	218	2,123
増減	692	10	119	821

イ 総合相談内容の内訳（電話・来所の主な内容）内訳

	令和4年度	令和3年度	増減		令和4年度	令和3年度	増減
介護保険	1,962	1,633	329	医療（※認知症以外）	258	269	▲11
介護予防事業	103	22	81	施設入所・入院	391	209	182
行政サービス	40	21	19	日常生活課題	419	252	167
インフォーマルサービス	139	103	36	苦情	17	19	▲2
その他制度・サービス等	159	108	51	成年後見制度・消費者保護	194	111	83
認知症（BPSD）	175	244	▲69	虐待	47	42	5
認知症（医療）	82	142	▲60	その他	314	273	41
介護（※認知症以外）	65	137	▲72	合計	4,365	3,585	780

② 権利擁護事業

ア 権利擁護に関する相談 241件（延べ件数）

・成年後見制度に関する相談

（本人家族やケアマネジャーに対して制度説明、申立支援。後見人がつくまでの対応、後見人がついたあとのフォロー、終活や任意後見について説明等）

・消費者被害に関する相談（特殊詐欺・リフォーム詐欺等の相談・警察への通報等）

・高齢者虐待相談対応（本人、親族、ケアマネジャー、事業所からの報告に基づき、訪問確認や区への通報、カンファレンスの開催等）

イ 権利擁護事業等に関する業務

・区主催の成年後見サポートネットワーク事業に参加

- ・区主催の高齢者虐待防止連絡会（年１回）に参加
- ・成年後見制度、高齢者虐待防止、消費者被害防止のチラシ・リーフレットを配布、ケアプラザ内に掲示し呼びかけ
- ・各出張講座等で成年後見制度の説明・独自で作成したチラシの配布

＜自主事業＞

- ・成年後見制度について…「行政書士による無料個別相談会」を開催。
- ・消費者被害防止について（地域活動交流共催）…「くらしの教室」は、コロナの関係で町内会に出張することを自粛。「あんしんして暮らすための１０分講座」は、ミニ講座２０回実施。「ちょっとおじゃまします」は、町内サロンにてミニ講座を２回実施。
- ・高齢者虐待防止について…「民生委員児童委員とケアマネジャーの情報交換会」にて、事例を通して高齢者虐待の基礎知識、早期発見、対応方法等について研修を実施。
- ・介護者のつどい…年６回実施。フリートーク５回と、介護ロボット＆オムツの使い方の体験会を実施。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ア 担当エリア内のケアマネジャーからの相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4 年度	30	39	47	41	30	24	30	28	27	28	19	24	367
R3 年度	32	53	28	34	14	17	18	11	11	16	20	27	281
増減	▲２	▲14	19	7	16	7	12	17	16	12	▲1	▲3	86

イ 事業等取り組みについて

- ・金沢区薬剤師会と包括主任ケアマネ部会、区役所、在宅医療連携室共催ケアマネ倶楽部協力の基「薬剤師とケアマネジャーの情報交換会」講義・質疑応答の会場場面をWeb形式で開催しました。
- ・「８０５０問題」の個別地域ケア会議を１回した。包括レベル地域ケア会議を１回開催し、相談が多岐にわたる時の窓口リストの必要性等情報共有し「８０５０問題を抱える世帯を想定した相談先がわかるリスト」の作成に繋がりました。
- ・金沢区内の新任ケアマネジャー対象に区主任ケアマネ部会として研修を２回開催しました。
- ・金沢区南部「５地域包括支援センター」の主任ケアマネ共催で、事例検討会を６月１２月と２回開催した。主マネ部会全体「メンタル研修」を開催しました。
- ・地域密着型サービス運営推進会議の定期的な開催が必要とされる１２施設は、会議中止や書面報告とし、必要に応じて包括から情報提供を実施。
- ・民生委員児童員とケアマネジャーとの情報交換会はコロナ対策を徹底し２回開催。

地域の情報交換や地域資源の情報提供など、ネットワーク構築が図れた。

④ 介護予防支援事業

ア 介護予防普及啓発事業（65 歳以上のすべての高齢者）への取り組み

- ・コロナ禍でも楽しめるスリーA 方式認知症予防ゲーム講座を実施。
- ・区と共催でオンライン配信「ケア・ウォーキング講座」を実施。
- ・今からはじめる介護予防『ロコモ・栄養・口腔』を実施。
- ・『フレイル予防 ミニ講座』を実施。

イ 地域介護予防活動支援事業への取り組み

- ・元気アップ認知症講座～シナプソロジーで脳もからだも元気アップ～を実施。
- ・元気づくりステーション「阿王ヶ台スマイル」「釜利谷太極拳」を区役所と共に支援。
- ・地域のサロンや定例会に積極的に出席し、介護予防に関する情報提供を行った。
- ・地域のサロンでニーズに合った介護予防講座を実施。

ウ その他

- ・広報誌やまなみや SNS 等で介護予防について情報周知を行った。

⑤ 介護予防ケアマネジメント事業

ア 包括支援センター担当件数(給付管理票作成件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4 年度	85	81	84	83	84	86	88	83	78	80	76	80	988
R3 年度	87	87	86	87	85	87	89	90	88	89	87	88	1050
増減	▲2	▲6	▲2	▲4	▲1	▲1	▲1	▲7	▲10	▲9	▲11	▲8	▲62

※ 包括支援センター担当件数とは、包括支援センターでケアプラン作成した件数

イ 委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4 年度	205	200	203	209	204	201	206	204	206	203	209	229	2479
R3 年度	185	190	194	201	202	203	205	216	213	215	208	209	2441
増減	20	10	7	8	2	▲2	1	▲12	▲13	▲12	1	20	38

※ 委託件数とは、包括支援センター以外の居宅介護支援事業所に委託契約を行い、介護支援専門員がケアプラン作成した件数。

⑥ 認知症関連事業

- ・認知症サポーター養成講座（地域活動交流・生活支援体制整備事業共催）…
高舟台松寿会向け、関東学院大学（西金沢 CP 共催）で開催。昨年度に引き続き、
釜利谷認知症キャラバン・メイト交流会主催で開催。また、包括エリア内の「釜利

谷認知症キャラバン・メイト交流会」を1回開催し、情報交換や日頃の悩みの話し合いを実施。

- ・かまりやサロン…認知症の人と家族が共に安心して過ごせる居場所（認知症カフェ）、家族の交流場として釜利谷地域ケアプラザにて月1回ペースで継続実施。今年度12回開催し、毎回10名前後の参加。

⑦ その他

- ・「パーキンソン病交流会」（西金沢 CP・区共催）は、年3回開催。釜利谷 CP 担当回ではダリア訪問看護ステーション能見台のPTに講座を依頼。
- ・「エンディングノートの使い方&医療・ケアについての「もしも手帳」について」（地域活動交流・生活支援体制整備事業共催）の講演会を実施。

（3）生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）

① 地域との関係性の構築

- ・再開しているサロンには感染予防を徹底しながら少しでも顔を出し、地域の方との関係性の構築に努めました。
- ・シニアクラブ釜利谷第一支部友愛部会の定例会に出席し、西金沢地域ケアプラザの生活支援コーディネーターと共に活動の支援を行いました。

② 各主体間のネットワークの構築

- ・地域の方と地域の現状についての情報交換やオンラインの有用性について話し合う機会として、地域活動交流と共催で、「Zoom」でどうも！を3か月に一回、オンラインで開催しました。

③ 資源開発等

- ・サロンが開催できない中、屋外で活動可能な「ラジオ体操」に切り替えた地域の活動応援
- ・「釜利谷みんなの情報シート」を更新、生活支援・介護予防に関する啓蒙・啓発
- ・「釜利谷みんなのお買い物情報」の更新及び地域の民生委員やケアマネジャーへ配布（地域包括支援センターとの共催）

（4）居宅介護支援事業

① 介護・予防・総合事業計画（ケアプラン）作成とケアマネジメント

- ・利用者・介護者であるご家族の両方を支えるためのプラン作成を行いました。介護保険だけでは生活が成り立たない場合は他の専門職へ繋ぎ、迷っている場合は相談窓口の情報提供を行うなど在宅生活が継続できる環境作りを行いました。

② 地域包括支援センターとの連携

- ・重度の認知症や急に動けなくなった方、介護者不在、ご家族が障害であるが、区役所に適切に繋がっていない、家族全体の支援が必要な方など在宅の介護サービスを整えると同時にアプローチが必要な方を地域包括支援センターと協力して支援を行いました。

③ 特定事業所としての取り組み

- ・今年度も常勤職員 4 名を配置し特定事業所加算Ⅱの算定を継続しました。

④ 24 時間の連絡体制

- ・専用の携帯電話を所持することで24時間相談に対応できる体制を継続しました。

⑤ 週 1 回以上のケアマネ会議の実施

- ・会議の中で全員の担当ケースを共有することで、担当者不在時も迅速に対応できるようにしました。また、支援の難しいケースについては随時検討会議を行い、担当ケアマネジャー個人だけではなく事業所全体で考える体制をつくり、より公平で質の高いケアマネジメントを行えるようにしました。

⑥ 外部研修や勉強会への積極的な参加と内部研修

- ・各ケアマネジャーがさまざまな勉強会や研修に参加することで、知識だけではなく地域や多職種との連携も深め、地域の生きた情報を収集しました。またその研修内容を用いて内部研修や報告書の回覧などを行い共有することで、各ケアマネジャーの知識レベルの差を少なくし、事業所全体の資質の向上に役立てました。

⑦ 金沢区全体のケアマネジャーに対する資質向上に向けた取り組み

- ・金沢区の介護支援専門員連絡会の役員として活動を行い、区内ケアマネジャー向けの研修や勉強会の企画・運営を行い、事業所の垣根を越えて相談しあえる環境を作りました。また行政や在宅医療相談室が主催する「金沢区医療・福祉合同研修」の企画・運営に協力するなど区内の医療・福祉団体が連携するための取り組みを行いました。
- ・横浜市介護支援専門員連絡協議会に役員として介護保険制度改正や市の取り組みなどについての情報共有や健康福祉局、医療局の職員の方と直接意見交換などを行い、介護現場の意見を横浜市に直接伝えることができ、そこで得た情報を地域に下ろすことでケアマネジャー業務の円滑化を支援することができました。

介護ケアプラン作成数（要介護1～要介護5判定の方）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	122	126	129	122	125	126	126	125	131	126	120	119	1497
R3年度	113	111	111	116	111	113	112	115	120	120	120	120	1382
増減	5	15	18	6	14	13	14	10	11	6	0	▲1	115

介護予防ケアプラン作成数（要支援１～要支援２判定の方）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4 年度	36	33	33	33	33	33	31	29	29	28	27	25	370
R3 年度	31	33	33	34	35	31	33	39	41	41	40	37	428
増減	5	0	0	▲1	▲2	2	▲2	▲10	▲12	▲13	▲13	6	▲58

※ 現在の常勤換算では一か月あたり 148 件が上限

※ 特定事業所加算Ⅱ（１件あたり 4,446 円）は介護ケアプランのみ算定できる。

金沢区等委託契約による介護認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4 年度	10	12	9	24	7	9	2	8	6	2	7	5	101
R3 年度	11	17	7	12	13	14	9	14	9	16	11	13	146
増減	▲1	▲5	2	12	▲6	▲5	▲7	▲6	▲3	▲14	▲4	▲8	▲45

※ 職員の通院、入院等で令和 4 年 9 月 22 日から、担当利用者以外の認定調査の受け入れは中止しています。令和 5 年 3 月末から職員復帰していますが、4 月から職員の移動に伴い 1 名欠員となり、認定調査の外部の受付の中止は継続しています。

（５） デイサービス事業

（指定通所介護事業、横浜市通所介護相当サービス）

デイルームの床の老朽化に伴い、２日間休業し、床の張替工事を実施したことにより、部屋全体が明るくなりました。１１月に新型コロナウイルス感染の拡大を抑える為に９日間の休業を致しました。休業中は日々、ご利用者様へ様子の聞き取りで電話をしたり、昼食に困る方へのお弁当配送を実施しました。再開にあたっては、事前に職員研修等を実施し感染対策を再徹底しました。ご利用者様には、安心して利用できるように丁寧に説明をして、利用再開していただきました。

３月に 100 歳を迎えた方がいました。予防対策を講じた中で、ご家族、ケアマネジャーを招待して百寿のお祝い会を開くことができました。

① 営業日 349 日

休業日 6月 25 日・26 日（床工事）11 月 12 日～20 日（コロナ休業）

12 月 30 日～1 月 3 日（年末年始） 計 16 日休業

② 利用者数 通所介護相当サービス利用者数 年間 887 名

通所介護利用者数 年間 8,575 名

③ 加算

- ・入浴介助加算
- ・個別機能訓練加算Ⅰ（イ）
- ・運動器機能向上グループ加算
- ・サービス提供体制強化加算（Ⅰ）
- ・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）

- ・介護職員特定処遇改善加算（Ⅰ）
- ・通所介護ベースアップ等支援加算

④サービス内容

ア 活動

ドッグセラピー、かまりやチャレンジカップ(ストラックアウト、輪投げ等で意欲向上)
座って太極拳、午後のコーヒー、太鼓を叩こう、アロマ、脳活(計算)、散歩等
特に月一度のドッグセラピーは利用者の心を癒しました。

イ 生活機能向上活動

ご利用者の生活機能向上を目的として「洗濯物干し・洗濯物たたみ」などの日常生活上の活動を取り入れ職員サポートしながら実施しました。

ウ 行事

新型コロナウイルス感染拡大防止しながら、敬老会・クリスマス会・利用者大忘年会を実施し気持ちが明るくなれる行事としました。年末最終日の「利用者大忘年会」は、利用者紅白歌合戦、職員の余興(ピアノ演奏・マジック・ダンス等)で1年を締めくくりました。

新たに、スパ釜利谷と題して、変わり風呂(薬草・檜・湯の花等)を提供いたしました。

エ 食事

イベント食の日には、トレーにランチョンマットを敷いて雰囲気を出し、利用者に満足頂ける食事の提供に努めました。また厨房職員がダイルームに出て料理の説明をしてくださることで、利用者と厨房職員の距離が縮まりました。

おやつイベントでは近隣のお菓子屋を利用し大きなケーキを準備しました。職員がウェイター、ウェイトレスとして、紅茶と一緒にケーキセットを提供させていただきました。喫茶店に行ったような気分で楽しんでいただきました。

④ 通所介護事業・介護度別利用状況(R4年4月~R5年3月) 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要支援1	14	2	4	5	8	10	11	8	9	11	12	12	106	202	▲96
要支援2	59	57	60	71	65	76	84	60	65	62	59	63	781	652	129
要介護1	238	243	228	225	212	215	220	142	195	181	175	205	2479	2435	44
要介護2	224	253	256	293	287	310	320	192	284	269	246	266	3200	2503	697
要介護3	151	169	144	152	144	144	150	108	146	149	182	202	1841	2276	▲435
要介護4	65	66	51	85	68	79	83	46	73	71	63	67	817	482	335
要介護5	36	31	23	30	22	23	14	8	14	11	13	13	238	432	▲194
総数	787	821	766	861	806	857	882	564	786	754	750	828	9462	8982	480
実施日数	30	31	28	31	31	30	31	21	29	28	28	31	349	358	▲9
平均利用者数/日	30	26	27	28	26	29	28	27	27	27	27	27	27	25	2

(認知症対応型通所介護 「やまゆり」)

新規でご利用希望があった際にはまず見学をしていただくことで、やまゆりのゆったりとした雰囲気を感じ取っていただき、安心して利用を開始できるように努めました。

新型コロナウイルスの影響ではご家族様のご理解、ご協力を頂きながら営業をしておりましたが、令和4年11月は感染拡大を防止するため2日間の休業をいたしました。新規ご利用者様の相談件数、契約人数は例年と比べ2倍を超える件数がありましたが、中止となられるご利用者が例年の3倍を超える人数となり、年間利用者数は減少となってしまいました。事業所内では、定期的な消毒、利用前の検温等の感染症対策、環境整備に努めました。

① 営業日 310日

休業日 日曜日及び12月31日～1月3日（4日間）

コロナ休業 11月24日～25日（2日間）

② 利用者数 年間 2416名

③サービス内容

ア 活動

感染症拡大防止の為、レクリエーションの見直し、屋外活動の自粛などをいたしました。

少人数制のプログラムを多く取り入れるなど、3密を防ぐ取り組みを行いました。

イ 運営推進会議

感染症拡大防止の為、書面開催としました。

ウ 機能訓練

感染症拡大予防の為自粛していた機能訓練としての屋外機能訓練は令和4年2月より少人数での取り組みを再開しています。また、季節の行事による工作活動などのプログラムを実施しておりましたが、

エ 食事

コロナ禍においても季節に合わせた食事を楽しんでいただきました。季節に合わせたランチョンマットを使用したお食事、やまゆり玄関前でさんまの炭火焼き、お誕生日の方にリクエスト料理を提供するなどの工夫を行いました。

○介護度別利用状況（R4年4月～R5年3月） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要介護1	46	57	54	55	40	50	64	50	71	66	71	78	702	626	76
要介護2	21	24	26	34	62	59	74	61	55	51	41	42	550	260	290
要介護3	96	74	70	87	96	65	48	38	25	21	35	38	693	1436	▲743
要介護4	15	17	16	19	25	33	35	24	41	27	30	30	312	205	107
要介護5	32	25	13	22	26	17	14	8	2	0	0	0	159	349	▲190
総数	210	197	179	217	249	224	235	181	194	165	177	188	2416	2876	▲460
実施日数	26	26	26	27	26	26	27	24	26	24	24	27	309	310	▲1
平均利用者数/日	8	8	7	8	10	9	9	8	7	7	7	7	8	9	▲1

3 職員研修

法人内部研修・ケアプラザ内部研修

研修名	参加延べ人数
虐待防止・人権研修	36 名
認知症研修	54 名
感染症研修	23 名
接遇・マナー研修	43 名

外部研修

研修名	参加延べ人数
各職種専門研修	102 名

4 苦情

(1) 苦情受付件数 2 件（令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）

地域活動交流

ア) 地域支えあい連絡会の開催

	開催数	参加人数	テーマ・内容詳細等
令和 4 年度（連絡会）	4	91	情報交換
令和 3 年度（連絡会）	3	58	情報交換

イ) 広報紙及びチラシの発行

	広報紙		チラシ		配布先
令和 4 年度	4 回	6000 枚	7 回	10500 枚	各町内会・関連機関に配布
令和 3 年度	4 回	6000 枚	7 回	10500 枚	

ウ) 貸館利用状況

件数 (単位：件)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4 合計	R3 合計	前 年 比
多目的	午 前	16	16	17	19	13	13	17	18	17	14	16	18	606	558	48
	午後1	19	18	23	23	16	19	22	24	20	16	18	23			
	午後2	10	11	16	18	10	11	15	17	12	15	17	19			
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
調理室	午 前	11	10	13	11	11	8	11	13	12	10	10	11	373	328	45
	午後1	12	12	17	12	14	12	15	17	16	12	14	15			
	午後2	2	5	10	6	3	4	6	8	5	8	9	8			
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ボラ	午 前	9	11	9	10	9	10	14	12	10	11	12	11	352	321	31
	午後1	10	11	11	12	10	13	3	12	12	11	14	12			
	午後2	6	8	8	10	3	8	9	8	6	9	9	9			
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合 計		95	102	124	121	89	98	112	129	110	106	119	126	1331	1207	124

稼働率 (単位：%)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4 平均	R3 平均	前 年 比
多目的	午 前	55	53	59	63	43	45	57	62	63	50	59	60	56	53	3
	午後1	66	60	79	77	53	66	73	83	74	57	67	77	69	66	3
	午後2	34	37	55	60	33	38	50	59	44	54	63	63	49	40	9
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理室	午 前	38	33	45	37	37	28	37	45	44	36	37	37	38	36	2
	午後1	41	40	59	40	47	41	50	59	59	43	52	50	48	43	5
	午後2	7	17	34	20	10	14	20	28	19	29	33	27	21	15	6
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボラ	午 前	31	37	31	33	30	34	47	41	37	39	44	37	37	36	1
	午後1	34	37	38	40	33	45	10	41	44	39	52	40	38	34	4
	午後2	21	27	28	33	10	28	30	28	22	32	33	30	27	22	5
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 多目的：多目的ホール ボラ：ボランティアルーム

利用人数 (単位：人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4 合計	R3 合計	前 年 比
		491	571	711	619	462	534	672	660	600	600	657	704	7415	7281	134

事業実施状況

別紙 2
※地域・関係団体等との共催を含む

			開催数	延参加者数	主な内容
地域活動交流	中高年	R4	28	321	手芸サロン、体操教室、歌
		R3	32	333	
		前年比	-4	-12	
	子ども・養育者	R4	50	571	父親講座、親子体操、おはなし会、プラレール広場
		R3	42	639	
		前年比	8	-68	
	障がい児者	R4	13	46	英語、ビジョンマップづくり
		R3	14	106	
		前年比	-1	-60	
	小学生	R4	2	10	英語あそび
		R3	0	0	
		前年比	2	10	
	地域交流	R4	20	216	歴史講座、ドッグセラピー、ゴスペル教室
		R3	14	132	
		前年比	6	84	
	ボランティア	R4	4	50	大学生向けボランティア講座 地域支援団体交流会 よこはまシニアボランティアポイント登録会
		R3	1	25	
		前年比	3	25	
	健康づくり	R4	7	82	ヨガ教室、ストレッチ
		R3	0	0	
		前年比	7	82	
地域包括支援センター	介護者支援	R4	6	7	介護者のつどい
		R3	6	1	
		前年比	0	6	
	難病支援	R4	3	65	パーキンソン病交流会
		R3	2	73	
		前年比	1	-20	
	地域連携	R4	4	83	地域ケア会議、民生・ケアマネ情報交換会
		R3	5	44	
		前年比	-1	39	
	権利擁護	R4	1	1	無料個別相談会
		R3	1	8	
		前年比	0	-7	
	講演会等	R4	6	83	ケアウォーキング、介護予防講座
		R3	3	23	
		前年比	3	60	
委託部門共催	認知症	R4	17	212	認知症サロン、認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイト交流会
		R3	17	213	
		前年比	0	-1	
	福祉保健・暮らし・多世代	R4	31	336	グリーンケア、Zoomでの交流会 講演会「サプリメント」、「お金の話」 エンディングノート説明会、消費者被害啓発
		R3	23	277	
		前年比	8	59	
	その他				車椅子の貸し出し、広報紙・チラシ作成、かまもりホルダー登録受付

令和4年度 柳町地域ケアプラザ事業報告

概説

新型コロナウイルス感染症発生以来、3年が経過しましたが、地域ケアプラザとしての役割が果たせるよう、感染防止対策を講じながら、各事業を推進してきました。

地域活動が少しずつ再開されるようになり、地域活動交流コーディネーターはじめ職員は各行事等に参加し、地域とのつながりを強化しました。また、介護予防、生活支援のため、地域での講座を開催し、健康づくりの支援等を行いました。

令和5年3月からは、地域包括支援センターのエリア変更があり、新たに担当となった地域からの相談も増えており、信頼関係づくりに努めています。

デイサービスでは、感染症対策を徹底しながら、季節感をふんだんに取り入れたイベント、個別活動等楽しめるプログラムを企画・実施し、延利用者数は、通所介護 9,500 人超、認知症通所介護 2,800 人超と、前年度と比較し利用者増となりました。

また、感染症や災害時の対応力強化のため、事業継続計画（BCP）の策定を進めました。今後も、感染症、災害時を想定した訓練等を進めていきます。

1 重点項目の実施状況

（1）地域活動交流事業

感染症対策を徹底しながら、貸館の対応、自主事業を実施しました。

講師の体調不良等により活動の継続が困難な登録団体に対しては、話し合いや継続に向けての提案を行いました。また令和4年度より、新たな事業として「スポーツ吹き矢」を開始し、参加者が主体となる活動へとつなげることができました。

地域活動の支援では、六浦地区の「レコード鑑賞会」、六浦東地区の「お茶の間リーダー会議」に定期的に出席し、情報交換等を行い、所内での情報共有に努めました。

（令和4年度）

自主事業開催数	95 回（前年度比 36 回増）	延べ 917 人（前年度比 406 人増）
貸館状況	904 件（前年度比 80 件減）	延べ 4,646 人（前年度比 613 人増）

（2）地域包括支援センター事業

新型コロナウイルスの感染状況や地域の活動状況を確認しながら、積極的に地域に出向き、介護予防講座の開催、エンディングノートの配布等を行いました。また、地域活動交流、生活支援コーディネーターと連携し、レコード鑑賞会等の地域活動の後方支援や、地域活動の再開に関して意見交換・情報共有等を行いました。

相談業務では、介護保険の申請、病院、民生委員・児童委員からの相談、県外からの転居、引きこもり、がんの末期等、多岐にわたる相談があり、関係機関と連携し支援しました。

【総合相談件数】

	電話・その他	来所	訪問	合計
令和4年度	968	226	110	1,304
令和3年度	909	233	106	1,248
増減	59	△7	4	56

(3) 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）

地域活動への関わりを控えめにしながらも、六浦地域ケアプラザとの共催で、サードプレイス（地域の方々が第三の場としてゆったりと過ごせる場）を開催し、春のウォーキングやオンラインによる情報交換等を行いました。

また、ボランティア団体交流会、ボランティアネットワークへの参加、レコード鑑賞会への支援を行いました。6月以降、担当者が不在となりましたが、他部門職員の代理による会議への出席等、各活動へ関わりをもち、情報共有等に努めました。

(4) 指定居宅介護支援事業（介護予防・総合事業含む）

今年度は「介護サービス情報公表制度」の訪問調査があり、居宅介護支援事業所の現状について説明し、調査員の理解を得られる等、事業を順調に進めてきました。

職員のスキルアップのため、オンライン研修で行われた外部研修や主任ケアマネジャー部会主催の事例検討研修、他法人との合同研修に積極的に参加しました。

居宅介護支援の実施状況は、コロナ下以前と同様、訪問によるモニタリング、担当者会議等を実施しています。

【居宅介護支援事業の状況】

（令和4年度）

●一人当たりの担当件数の上限は介護・予防合わせて 39件 ●1か月あたりの上限件数は 148件

介護ケアプラン作成数（要介護1～5）	1,176件	（前年度比 △35件）
介護予防ケアプラン作成数（要支援1～2）	398件	（前年度比 70件）

(5) デイサービス事業（指定通所介護事業・認知症対応型通所介護事業）

今年度も安心してデイサービスを利用していただけるよう、感染症対策や事故防止対策を講じながら事業を継続して実施しました。

提供するサービスでは、季節の行事を多く取り入れるとともに、日々のプログラムについても創意工夫し、ご利用者の満足度が高まる活動を提供したことにより、前年度に比べ利用者数増となりました。

地域のニーズを把握し、期待に応えることが出来るよう、運営推進会議の開催のほか、各関係機関やケアマネジャー等との連携に努めました。

職員の資質向上のため、動画視聴研修等を利用し専門的知識・技術の向上に向け計画的に研修を実施しました。

(令和4年度)

	延べ利用者数	前年度比	定員/日	平均利用者/日
通所介護事業	9,545	65	30	26.6
認知症対応型通所介護	2,845	7	10	7.9

(6) 事業継続計画（BCP）の策定

「感染症や災害への対応力強化」の取組として、釜利谷地域ケアプラザとの月1回の定期会議において情報交換を行い、自然災害発生時におけるBCPの策定を進めてきました。

災害危険度を示すハザードマップの情報収集や備蓄品の確認、緊急連絡先などの把握等、災害時の業務継続に関する配慮事項等について確認し、冊子に反映させています。

また、新型コロナウイルス感染症のBCPについても、感染症対策の事業所マニュアル（新型コロナウイルス対策用）を基に、今後策定を進めていきます。

2. 令和4年度 事業活動収支決算概要

(単位：円)

	令和4年度	令和3年度	増減	備考
介護保険事業収益	206,329,914	207,517,949	△ 1,188,035	生活支援コーディネーター不在による返戻金等
経常経費寄付金収益	50,000	0	50,000	
サービス活動収益計(1)	206,379,914	207,517,949	△ 1,138,035	
人件費	158,113,717	150,525,751	7,587,966	派遣職員、退職給付費、法定福利費増等
事業費	20,705,963	20,973,102	△ 267,139	令和3年度洗濯機、乾燥機入れ替え等
事務費	29,176,919	29,695,257	△ 518,338	令和3年度空調機修理
減価償却費	8,717,336	8,649,028	68,308	
国庫補助金取崩額	△ 6,358,523	△ 6,358,523	0	
サービス活動費用計(2)	210,355,412	203,484,615	6,870,797	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 3,975,498	4,033,334	△ 8,008,832	
サービス活動外収益計(4)	2,897,750	1,263,063	1,634,687	
サービス活動外費用計(5)	649,040	601,920	47,120	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,248,710	661,143	1,587,567	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 1,726,788	4,694,477	△ 6,421,265	

<資料編>

1 事業別報告

(1) 地域活動交流事業

障がい児者余暇支援「おひさま広場」では、コロナ下以来3年ぶりにクッキー作りを実施し、ご利用者に笑顔で参加いただきました。また、小学生対象の「夏休みこども企画」の開催日と合わせて、毎週木曜・金曜日に「レゴパーク」を開催し、家族連れや兄弟の多くの皆様に参加をいただきました。「小学生お菓子作り」も3年ぶりに開催し、作ったお菓子は持ち帰りいただいています。

登録団体へのボランティア活動推進として、各自主事業へのボランティアを案内しました。「夏休みこども企画」、「小学生お菓子作り」、「おひさま広場」にそれぞれ参加いただき、とくに「おひさま広場」では、障害のある方と関わりの中で、少しずつ障害について理解を進められています。

徐々に再開した地域の活動には、五職種で参加し地域の後方支援に努めています。

※ 実施状況は別紙参照

(2) 地域包括支援センター事業

昨年度に引き続き、地域の状況確認、感染症対策を講じながら事業を実施しました。介護予防講座は、地域ケアプラザや地域からの要望を伺いながら町内会館に出向いて開催し、活動が制限される状況の中でも感染対策を取りながら活動していく必要性の周知を図りました。介護者のつどいでは、昨年度延期したダブルケアラーについての講座を開催しました。当事者である講師の先生の体験談を伺った後、参加者同士で分かち合う場を持ちました。地域ケア会議では、地域と関わりのなかった方が頼れる親族もなく、緊急対応が必要となった場合の支援をテーマとして実施しました。

一昨年度、五職種共催で民生委員・児童委員に実施したアンケート（地域から孤立していると思われる方への対応について）結果について、民生委員児童委員協議会で報告を行いました。

① 総合相談支援事業（電話・来客の主な内容）

【総合相談件数】

	電話・その他	来所	訪問	合計
令和4年度	968	226	110	1,304
令和3年度	909	233	106	1,248
増減	59	△7	4	56

【総合相談内容の内訳（電話・来所の主な内容）】

	令和4年度	令和3年度		令和4年度	令和3年度
介護保険	758	774	介護（※認知症以外）	136	38
介護予防事業	5	14	医療（※認知症以外）	111	93
行政サービス	13	8	施設入所・入院	67	51
インフォーマルサービス	75	73	日常生活課題	258	168
その他制度・サービス等	36	22	苦情	6	3
認知症（BPSD）	136	65	成年後見制度・消費者保	30	43
認知症（医療）	22	36	虐待	9	10
			その他	397	271
			合計	2,047	1,669

（相談内容が複数にわたる場合があり、内訳数は相談・訪問件数を上回る）

② 権利擁護事業

ア 権利擁護に関する個別相談 39件（延べ件数）

- ・成年後見制度に関する相談（親族申立や任意後見、相続に関するもの）
- ・虐待に関する相談（身体的虐待、経済的虐待、虐待疑いを含む）

イ その他、権利擁護事業に関する業務

- ・金沢区成年後見サポートネットワーク事業参加（年4回）
- ・成年後見申立の相談を受け、必要に応じて申し立てについて情報提供
- ・虐待防止従事者研修に参加、スキルアップ
- ・虐待に係る相談（疑い含む）について、区役所等と連携対応
- ・エンディングノートの説明、配布
- ・介護者が孤立することを防ぐため、介護者のつどいを実施

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ア 担当エリア内のケアマネジャーからの相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	16	16	12	12	9	9	10	15	12	16	20	19	166
令和3年度	20	12	13	9	17	11	10	8	2	8	7	4	121
増△減	△4	4	△1	3	△8	△2	0	7	10	8	13	15	45

・必要時エリア内の居宅介護支援事業所を訪問し、区役所からの最新情報の提供、ケアプラン作成、個別相談等行っている。

イ 事業等取り組みについて

＜研修関係＞

- ・金沢区主任ケアマネジャー部会南部地区共催：ケアマネジャー支援サロン（年1回）
→新型コロナウイルス感染防止のため中止

- ・金沢区主任ケアマネジャー部会南部地区共催：南部事例検討会（年2回）
- ・横浜市主催：金沢区役所、金沢区主任ケアマネジャー部会、保健師部会、社会福祉士部会共催：介護予防従事者研修開催（年1回）
- ・金沢区役所、三師会、病院、地域包括支援センター、金沢ケアマネ倶楽部、訪問看護管理者会、リハビリテーション連絡会、訪問介護連絡会、通所介護連絡会共催：医療福祉合同研修（年1回）
- ・金沢区主任ケアマネジャー部会共催：メンタルケアとモチベーションマネジメント研修（年1回）

《その他》

- ・金沢区主任ケアマネジャー部会、保健師部会、社会福祉士部会、病院の相談員と情報交換 →新型コロナウイルス感染防止のため、情報シート更新のみ実施
- ・ケアマネジャーからの相談は、面接や電話で状況を確認し、必要に応じて同行訪問し課題の早期解決に取り組み、地域のケアマネジャーのバーンアウトを予防出来るようにメンタルに配慮し支援しました

ウ サービス担当者会議・カンファレンス支援

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	1	5
令和3年度	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
増△減	0	0	2	0	0	△1	0	0	1	0	1	1	4

- ・処遇困難事例ケースに関しては、区役所担当ケアマネジャーと協働で行う

④ 介護予防支援・日常生活支援総合事業

生活支援コーディネーターが不在の中、地域ケアプラザのみでなく各町内会へ出向くことで、民生委員や町内会長など地域支援者と関係性を築くことを心がけました。地域支援者からの要望を伺いながら、地域の状況に合わせてフレイル予防（虚弱予防）を意識した講座を開催し、事業展開を図りました。区役所と共催でオンラインを活用した講座も開催し、ケアプラザでの事業へつなげるようにしました。

ア 介護予防普及啓発事業 ※以下、（ ）は開催日

- ・ロコモ予防講座 「ロコモ予防で元気に！～身体を動かして免疫力アップ～」他（10/19、1/13、2/21） 参加者 延べ33名
- ・栄養講座「食事と運動でフレイル予防！」（6/16、11/10） 参加者 延べ31名
- ・ケアウォーキング講座（11/4、11/25） 参加者 延べ38名
- ・口腔ケア講座「お口を知って健康長寿をめざしましょう」（7/27） 参加者 20名
- ・「健康チェック&体力測定」（6/30） 参加者 39名
- ・敬老のつどい「フレイル予防について」（9/24） 参加者 29名

イ 地域介護予防活動支援事業

- ・元気づくりステーション

「柳町 in コグニ」に対し後方支援を行い、月1回の開催を継続しています。

コグニサイズ体験会&フォローアップ講座(2/3)

参加者 19名

・地域活動支援

老人会や活動グループに対し、必要に応じ情報提供やアドバイスをを行いました。

・埋蔵資源発掘プロジェクト「レコード鑑賞会」全10回

参加者 延べ87名

⑤ 指定介護予防支援事業

高齢者が、要支援・要介護状態になること、重度化をできるだけ予防できるよう、自身の力を活かした自立に向けた支援を行うように努めました。3月からの圏域変更に伴う混乱が生じないように各地域ケアプラザと情報交換し、委託先の居宅介護支援事業所との引継ぎもしっかりと行いました。介護予防ケアプラン等に関する指導・助言、その他相談対応を継続しました。

ア 包括支援センター担当件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	33	34	32	32	32	33	35	38	38	37	37	45	426
令和3年度	35	38	38	37	34	36	36	36	32	32	31	31	416
増△減	△2	△4	△6	△5	△2	△3	△1	2	6	5	6	14	10

※包括支援センター担当件数…包括支援センターで作成したケアプラン件数

イ 委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	132	134	135	131	125	122	120	121	124	121	118	124	1,507
令和3年度	108	110	112	114	116	123	124	125	129	130	124	127	1,442
増△減	24	24	23	17	9	△1	△4	△4	△5	△9	△6	△3	65

※包括支援センター以外の居宅介護支援事業所に委託契約を行い、介護支援専門員が作成したケアプラン件数

⑥ 地域ケア会議

本年度は地域と関わりのなかった方が、頼れる親族もなく緊急対応が必要となった場合の支援をテーマとし、包括レベルの地域ケア会議を1回開催しました。救急対応の実際や病院で行われている困窮者支援、区役所生活支援課の家計相談、就労支援、フードバンク等の食糧支援等、高齢に限らない支援を行政、消防、病院、ケアマネジャー、民生委員・児童委員、町内会等参加者で共有でき、ケースを通して元気な時からの意思表示の大切さを考える機会と出来ました。

(3) 生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター業務)

① 地域との関係性の構築

六浦連合町内会で開催されているレコード鑑賞会について、他部門職員とともに

後方支援を行いました。

② 地域活動団体のネットワーク構築

- ・毎月1回、六浦地域ケアプラザで開催されている「六浦ボランティアネットワーク」の定例会に積極的に参加しました。また、6月には金沢区社会福祉協議会、区内生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーター共催で各地域で活動しているボランティア団体との連絡会「ボランティア団体交流会」を初めて開催しました。

③ 交流の居場所作り

- ・六浦地域ケアプラザとの共催で地域の居場所づくりを目的とした「サードプレイス」では、春のウォーキング（手子神社～金沢自然公園）を実施し、地域の方9名の参加、また、「With コロナのいまの気持ち」と題し会場とリモートのハイブリット形式（集合とオンラインを組み合わせた形）で意見交換会を開催、地域の方5名が参加しました。

（４） 指定居宅介護支援事業

コロナ感染症に対し、検温、手指消毒、マスク着用を継続しながら、ほぼ以前通りに訪問、モニタリング、サービス担当者会議等を行いました。利用者数は徐々に増加しており、一件、一件のケース内容が独居で認知症、あるいは老老介護でお二人とも認知機能の低下がある等、課題の大きなケースが多くなってきています。予防の利用者も少しずつ増え、地域包括支援センターの委託先の中でも目立った件数となっています。

引き続き、ひとり一人の利用者に寄り添い、自分の人生を全うできる支援を継続して行っていきます。

ア 居宅事業ケアプラン作成数

介護ケアプラン作成数（要介護1～要介護5認定の方）

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	88	94	95	95	94	98	104	101	103	101	101	102	1,176
令和3年度	102	104	107	107	105	103	101	101	98	93	96	94	1,211
増減	△ 14	△ 10	△ 12	△ 12	△ 11	△ 5	3	0	5	8	5	8	△ 35

介護予防ケアプラン作成数（要支援1～要支援2認定の方）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	32	34	34	34	33	32	33	34	32	34	33	33	398
令和3年度	25	26	28	26	27	28	28	26	28	28	28	30	328
増減	7	8	6	8	6	4	5	8	4	6	5	3	70

※常勤換算でケアマネジャー1人当たりの件数限度は介護・予防合わせて39件

※現在の常勤換算では、1か月あたり148件が上限

※特定事業所加算Ⅲ（1件当たり3,336円）は介護ケアプランのみ算定

イ 契約者数（令和４年３月３１日現在）

	契約者数		内新規契約者数		終了者数	
	介護	予防	介護	予防	介護	予防
令和４年度	107	34	46	14	33	6
令和３年度	98	33	41	12	48	6
前年度比	9	1	5	2	△ 15	0

ウ 金沢区等委託契約による介護認定調査件数（区との契約数は年間 130 件）

	令和４年度	令和３年度	前年度比
件数	68	73	△ 5
含区外件数	2	2	0

(5) デイサービス事業（指定通所介護事業、認知症対応型通所介護事業）

① 指定通所介護事業

感染症対策を徹底することで、ご利用者が楽しんでいただける現状の活動や季節のイベントを引き続き実施するほか、今年度から新たな大イベント、サプライズイベント等を企画・実施し、ご利用者に満足いただける内容になるように工夫しました。年間の延べ利用者数についてもここ数年続けて増加し、今年度も過去最高の年間延べ利用者数となりました。

開館日数：359 日

<サービス内容>

ア 季節ごとの行事

感染対策を講じながら、季節の行事や食のイベントを実施しました。ご利用者が意欲的に参加し楽しみになるように努め、今年度は新たに芋煮会を実施しました。

春：送迎時に車内からの花見、じゃがバター大会、新茶の会、横浜の日（焼売弁当）

夏：すいか割り、かき氷、アイスクリーム

秋：敬老会（地域の和菓子の提供）、さんま祭り、焼き芋大会

冬：クリスマス会（クリスマスメニューの提供）、芋煮会

※その他

地域の町おこしイベントとして、サプライズで地域の和洋菓子店などから、お茶菓子を仕入れ、サプライズイベントとして実施しました。

イ 個性のあるグループ活動

既存のサークル（書道、川柳、園芸、カラオケ）、教室（珈琲、体操、絵手紙）、趣味活動（麻雀、将棋、制作、歩行訓練）を定期的実施し利用者が意欲をもって活動に参加できるように取り組みました。

その他、施設周囲での歩行訓練（雨天時は施設内の階段昇降）を希望者に対して少人数ごとに回数を分けて実施しました。

ウ 保育園児・小中学校との交流

今年度も感染症対策のため、交流を中止しました。

エ 運動器向上・個別機能訓練

加算算定者に対し、機能訓練指導員がそれぞれの自宅に訪問し、自宅での状況を把握した上で、ご利用者の目標を決め、計画を作成すること、また実施期間ごとに評価し、運動機能の維持・向上に努めました。

オ 食事

日々、検食を通して味付け、量、色合いなどの評価を行い、また、ご利用者の声を伺い、委託業者と話し合い毎日のお食事を美味しく召し上がっていただけるように努めました。月一回、各都道府県の郷土料理の提供や特別感のあるメニューも多く取り入れ皆様から好評でした。

カ 避難訓練

年に2回の施設内での避難訓練（大地震・水害、火災）初期消火訓練の他、地域の避難訓練に参加し、連携の強化に努めました。

キ 学生実習生の受け入れ

近隣中学校の個別支援級の生徒の施設実習、近隣大学の実習を受け入れました。

通所介護事業・介護度別利用状況（令和4年4月～令和5年3月）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要支援1	46	51	53	50	37	40	44	28	32	30	35	38	484	416	68
要支援2	110	112	109	112	115	114	110	109	103	102	104	118	1,318	1,120	198
要介護1	207	208	209	224	243	234	236	195	175	186	169	164	2,450	2,651	△201
要介護2	220	237	226	230	231	256	269	271	269	259	246	272	2,986	2,904	82
要介護3	110	137	131	143	141	141	125	124	112	121	149	169	1,603	1,598	5
要介護4	43	46	54	47	46	39	46	25	25	33	37	41	482	771	△289
要介護5	9	16	19	21	21	22	23	21	25	21	14	10	222	20	202
総数	745	807	801	827	834	846	853	773	741	752	754	812	9,545	9,480	65
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359	359	0
平均利用者数/日	24.8	26.0	26.7	26.7	26.9	28.2	27.5	25.8	26.5	26.9	26.9	26.2	26.6	26.4	0.2

② 認知症対応型通所介護 かがやき

新型コロナウイルスに家庭内で感染された方や濃厚接触者のため欠席された方が数名いたものの、大きな影響を受けることなく利用者数は安定していました。

特に8月に感染された方が多かったため、9月に予定していた令和4年度第1回運営推進会議は書面開催としました。令和5年第2回運営推進会議は3年ぶりに開催することができました。顔を合わせて会議ができ、参加者の皆様から喜びの声をいただきました。

自粛していた趣味活動のパズルや、道具を共有するレクリエーションも手指消毒や道具を消毒することで、各活動を再開することができ、ご利用者に楽しいと感じてもらえる活動が増え、笑顔も増えました。

開館日数：359日

＜サービス内容＞

ア 活動

コロナ感染対策のため、消毒できる道具、物を使ったゲーム（玉入れ、パターゴルフ等）を中心に行い、また、筋力の低下防止、気分転換に屋外歩行訓練や園芸活動に力を入れました。

イ 運営推進会議

令和4年9月は書面開催、令和5年3月は集合による会議を開催しました。

3月の会議では、地域にお住まいのご家族からは、町内会の行事が再開していることや、施設職員からは、「珈琲の会」を参考にしたい等意見交換をすることができました。

ウ 季節

通所介護と連携し、コロナウイルス感染対策を行いながらもできるイベントとして、令和2年度から企画・実施し好評だったイベント、スイカ割り、サンマ祭り、焼き芋大会を実施しました。

敬老会では、地域の和菓子屋で購入したお菓子でお祝いをさせていただきました。またクリスマス会では、利用者が参加できる「手話ダンス」を音楽に合わせて一緒に踊る等、どちらのイベントも職員が心を込めておもてなしをさせていただきました。

認知症対応型通所介護事業・介護度別利用状況（令和4年4月～令和5年3月） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要支援1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	33	△29
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	△26
要介護1	76	78	83	91	101	100	104	102	104	108	115	125	1,187	710	477
要介護2	44	47	43	43	35	42	33	32	31	36	37	43	466	563	△97
要介護3	55	52	50	43	48	50	54	57	55	45	37	44	590	740	△150
要介護4	49	57	62	47	43	42	40	32	30	18	12	20	452	636	△184
要介護5	9	8	4	17	23	8	18	8	15	5	15	16	146	130	16
総数	233	246	242	241	250	242	249	231	235	212	216	248	2845	2,838	7
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359	359	0
平均利用者数/日	7.8	7.9	8.1	7.8	8.1	8.1	8.0	7.7	8.4	7.6	7.7	8.0	7.9	7.9	0.0

2 職員研修（人材育成）

内部研修（法人・柳町地域ケアプラザ）

研修名	参加人数
法令順守の理解	26名
食中毒の知識	30名
事故発生後の対応	23名
認知症の特徴と他職種連携の必要性	23名
介護現場におけるハラスメントに関する研修	28名
個人情報・プライバシーの保護	31名
感染症の予防とまん延防止	28名
損帯拘束を行ってはいけない理由	22名
人権研修	40名
高齢者疑似体験	31名

外部研修

研修名	参加人数
各種専門研修	51名

3 苦情

（1）苦情受付件数 0件（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(別紙) 地域活動交流事業 実施状況

① 支えあい連絡会の開催

	開催数	参加人数	テーマ・内容詳細等
令和4年度	0	0	
令和3年度	0	0	

② 広報紙及びチラシの発行

	広報紙	チラシ	配布先
令和4年度	4回	33回	来館者・各町内会・関連機関に配布
令和3年度	4回	29回	

③ 貸館状況

(単位：件)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和4 合計	令和3 合計
多 目 的	午 前	17	17	21	21	19	18	19	17	17	22	19	19	545	450
	午後1	10	16	20	20	14	16	17	19	10	13	14	13		
	午後2	4	7	12	15	10	8	10	11	4	7	9	5		
	夜 間	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3		
調 理 室	午 前	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	3	2	67	44
	午後1	3	3	4	3	1	2	2	2	2	2	5	3		
	午後2	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	2	1		
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ボ ラ	午 前	7	7	9	6	12	5	8	4	9	6	8	5	254	457
	午後1	10	7	5	7	14	8	7	7	8	10	13	13		
	午後2	3	3	1	4	7	5	4	4	5	7	7	9		
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
地 域	午 前	0	1	1	0	1	2	0	0	0	0	3	1	38	33
	午後1	1	2	2	3	4	0	1	1	3	1	1	4		
	午後2	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0		
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合 計		61	70	81	85	86	70	75	72	65	75	86	78	904	984

稼働率

(単位:%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和4 合計	令和3 合計
多 目 的	午 前	59	94	100	111	90	95	100	89	89	116	106	93	62
	午後1	34	89	95	105	67	84	89	100	53	68	78	75	54
	午後2	14	39	57	79	48	42	53	58	21	37	50	24	32
	夜 間	10	17	14	16	14	16	16	16	16	16	11	14	60
調 理 室	午 前	7	11	10	11	5	11	11	11	11	11	17	10	9
	午後1	10	17	19	16	5	11	11	11	11	11	28	13	7
	午後2	0	6	5	5	0	5	5	5	5	5	11	5	1
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボ ラ	午 前	24	39	43	32	57	26	42	21	47	32	44	24	36
	午後1	34	39	24	37	67	42	37	37	42	53	72	62	45
	午後2	10	17	5	21	33	26	21	21	26	37	39	43	24
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
地 域	午 前	0	6	5	0	5	11	0	0	0	0	17	5	4
	午後1	3	11	10	16	19	0	5	5	16	5	6	19	10
	午後2	3	6	0	0	0	0	5	5	5	5	0	0	2
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

※ 多目的：多目的ホール ボラ：ボランティアルーム 地域：地域ケアルーム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和4 合計	令和3 合計
利用人数(単位:人)	317	347	479	462	409	363	380	371	316	396	423	383	4646	4033

④ 自主事業実施状況（令和４年４月～令和５年３月）

	事業年度	開催数	延参加者数	内 容
高齢者支援	令和4	12	194	フラワーアレンジメント
	令和3	12	163	フラワーアレンジメント
	前年比	0	31	
子育て支援	令和4	12	142	あかちゃんといっしょ
	令和3	12	67	あかちゃんといっしょ
	前年比	0	75	
障がい児者支援	令和4	12	67	おひさま広場、3ケアプラザ共催余暇支援
	令和3	11	58	おひさま広場、3ケアプラザ共催余暇支援
	前年比	1	9	
小学生向け	令和4	9	77	夏休みこども企画、小学生お菓子作り、レゴパーク
	令和3	2	32	夏休みこども企画、
	前年比	7	45	
多世代交流 （小学生・高齢者）	令和4	0	0	
	令和3	0	0	
	前年比	0	0	
地域交流	令和4	22	154	金沢区の歴史を学ぶ会、小物作り、布ぞうり講座、お正月飾り、干支小物づくり、和紙立ち雛作り
	令和3	19	135	金沢区の歴史を学ぶ会、小物作り、布ぞうり講座、お正月飾り
	前年比	3	19	
健康作り	令和4	14	107	てくてく金沢
	令和3	2	31	てくてく金沢
	前年比	12	76	
福祉チャレンジ事業 ・車椅子介助体験 ・視覚障害者誘導介助体験 ・手話体験 ・点字体験	令和4	0	0	
	令和3	0	0	
	前年比	0	0	
福祉体験授業	令和4	0	0	
	令和3	0	0	
	前年比	0	0	
福祉保健、健康、暮らし	令和4	0	0	
	令和3	3	54	スマートフォン講座
	前年比	△3	△54	
ボランティア育成	令和4	2	59	大学生対象ボランティア育成講座
	令和3	1	25	大学生対象ボランティア育成講座
	前年比	1	34	
出張講座等	令和4	0	0	
	令和3	0	0	
	前年比	0	0	
サロン	令和4	12	117	おしゃべりカフェ
	令和3	12	84	おしゃべりカフェ
	前年比	0	33	
合 計	令和4	95	917	
	令和3	59	511	
	前年比	36	406	

※共催及び後援事業を含む

法人単位資金収支計算書
(自)令和 4年 4月 1日(至)令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	447,777,189	439,010,344	8,766,845	
	就労支援事業収入	21,700,000	16,322,371	5,377,629	
	障害福祉サービス等事業収入	1,380,886,660	1,379,253,201	1,633,459	
	借入金利息補助金収入	176,640	176,640	0	
	経常経費寄附金収入	3,410,000	3,211,806	198,194	
	受取利息配当金収入	61,000	4,860	56,140	
	その他の収入	26,634,945	24,983,600	1,651,345	
	事業活動収入計(1)	1,880,646,434	1,862,962,822	17,683,612	
	支出				
事業活動による収支	人件費支出	1,378,679,805	1,388,488,895	△ 9,809,090	
	事業費支出	246,191,600	246,643,901	△ 452,301	
	事務費支出	206,219,940	201,557,002	4,662,938	
	就労支援事業支出	19,480,000	17,559,420	1,920,580	
	支払利息支出	176,640	176,640	0	
	その他の支出	9,068,000	6,644,110	2,423,890	
	事業活動支出計(2)	1,859,815,985	1,861,069,968	△ 1,253,983	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	20,830,449	1,892,854	18,937,595	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	7,170,000	7,016,318	153,682	
	固定資産売却収入	24,000	55,810	△ 31,810	
	施設整備等収入計(4)	7,194,000	7,072,128	121,872	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	5,780,000	5,780,000	0	
施設整備等による収支	固定資産取得支出	15,546,000	15,842,249	△ 296,249	
	施設整備等支出計(5)	21,326,000	21,622,249	△ 296,249	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 14,132,000	△ 14,550,121	418,121	
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	15,097,720	14,163,571	934,149	
	その他の活動による収入		217,470	△ 217,470	
	その他の活動収入計(7)	15,097,720	14,381,041	716,679	
	支出				
	積立資産支出	22,887,284	22,088,260	799,024	
その他の活動による収支	その他の活動による支出		481,370	△ 481,370	
	その他の活動支出計(8)	22,887,284	22,569,630	317,654	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 7,789,564	△ 8,188,589	399,025	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 1,091,115	△ 20,845,856	19,754,741	

前期末支払資金残高(12)	630,102,635	630,102,635	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	629,011,520	609,256,779	19,754,741	

法人単位事業活動計算書
(自) 令和 4年 4月 1日(至) 令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	439,010,344	430,238,387	8,771,957
	就労支援事業収益	16,322,371	18,225,548	△ 1,903,177
	障害福祉サービス等事業収益	1,379,253,201	1,333,843,075	45,410,126
	経常経費寄附金収益	3,211,806	750,000	2,461,806
	サービス活動収益計(1)	1,837,797,722	1,783,057,010	54,740,712
	費用			
	人件費	1,384,989,725	1,327,089,240	57,900,485
	事業費	246,643,901	223,345,227	23,298,674
	事務費	201,557,002	198,357,456	3,199,546
サービス活動外増減の部	就労支援事業費用	16,578,434	20,595,912	△ 4,017,478
	減価償却費	66,768,873	69,051,968	△ 2,283,095
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 45,810,071	△ 48,977,690	3,167,619
	サービス活動費用計(2)	1,870,727,864	1,789,462,113	81,265,751
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 32,930,142	△ 6,405,103	△ 26,525,039
	収益			
	借入金利息補助金収益	176,640	198,720	△ 22,080
	受取利息配当金収益	4,860	5,794	△ 934
	その他のサービス活動外収益	24,983,600	19,962,771	5,020,829
	サービス活動外収益計(4)	25,165,100	20,167,285	4,997,815
特別増減の部	費用			
	支払利息	176,640	198,720	△ 22,080
	その他のサービス活動外費用	6,644,110	6,697,030	△ 52,920
	サービス活動外費用計(5)	6,820,750	6,895,750	△ 75,000
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	18,344,350	13,271,535	5,072,815
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 14,585,792	6,866,432	△ 21,452,224
	収益			
	施設整備等補助金収益	7,016,318	3,735,000	3,281,318
	固定資産売却益		1,998	△ 1,998
	特別収益計(8)	7,016,318	3,736,998	3,279,320
	費用			
繰越活動増減差額の部	固定資産売却損・処分損		99,218	△ 99,218
	国庫補助金等特別積立金積立額	7,016,318	3,735,000	3,281,318
	特別費用計(9)	7,016,318	3,834,218	3,182,100
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	△ 97,220	97,220
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 14,585,792	6,769,212	△ 21,355,004
	前期繰越活動増減差額(12)	830,799,046	715,504,539	115,294,507
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	816,213,254	722,273,751	93,939,503
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)	10,664,401	119,999,000	△ 109,334,599
	その他の積立金積立額(16)	22,088,260	11,473,705	10,614,555
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	804,789,395	830,799,046	△ 26,009,651

法人単位貸借対照表
令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	707,830,038	698,768,368	9,061,670	流動負債	102,108,718	73,182,178	28,926,540
現金預金	382,134,058	434,621,837	△ 52,487,779	事業未払金	79,167,955	49,362,160	29,805,795
事業未収金	297,777,464	240,818,592	56,958,872	1年以内返済予定設備資金借入金	5,780,000	5,780,000	0
未収金	512,668	686,511	△ 173,843	預り金	341	57,498	△ 57,157
未収補助金	6,172,935	0	6,172,935	職員預り金	10,984,861	12,678,628	△ 1,693,767
貯蔵品	816,587	885,780	△ 69,193	前受金	2,643,890	2,599,654	44,236
商品・製品	1,572,451	500,290	1,072,161	仮受金	3,531,671	2,704,238	827,433
原材料	672,090	763,265	△ 91,175				
立替金	1,670,050	5,317,457	△ 3,647,407				
前払費用	16,471,735	15,144,636	1,327,099				
その他の流動資産	30,000	30,000	0				
固定資産	1,183,400,597	1,226,122,892	△ 42,722,295	固定負債	129,888,185	127,307,545	2,580,640
基本財産	970,349,730	1,022,968,455	△ 52,618,725	設備資金借入金	22,680,000	28,460,000	△ 5,780,000
建物	970,349,730	1,022,968,455	△ 52,618,725	退職給付引当金	107,208,185	98,847,545	8,360,640
その他の固定資産	213,050,867	203,154,437	9,896,430	負債の部合計	231,996,903	200,489,723	31,507,180
建物	40,895,265	42,933,115	△ 2,037,850	純資産の部			
構築物	4,578,525	5,635,484	△ 1,056,959	基本金	58,506,000	58,506,000	0
車輛運搬具	4,094,443	2,882,408	1,212,035	第1号基本金	58,506,000	58,506,000	0
器具及び備品	19,978,179	18,692,205	1,285,974	国庫補助金等特別積立金	785,938,337	824,732,090	△ 38,793,753
権利	22,579,834	20,042,893	2,536,941	その他の積立金	10,000,000	10,364,401	△ 364,401
ソフトウェア	2,429,597	2,733,447	△ 303,850	修繕積立金	0	10,364,401	△ 10,364,401
退職給付引当資産	107,208,185	98,847,545	8,360,640	人材育成積立金	10,000,000		10,000,000
修繕積立資産	0	10,364,401	△ 10,364,401	次期繰越活動増減差額	804,789,395	830,799,046	△ 26,009,651
人材育成積立資産	10,000,000		10,000,000	(うち当期活動増減差額)	△ 14,585,792	6,769,212	△ 21,355,004
長期前払費用	1,286,839	1,022,939	263,900	純資産の部合計	1,659,233,732	1,724,401,537	△ 65,167,805
資産の部合計	1,891,230,635	1,924,891,260	△ 33,660,625	負債及び純資産の部合計	1,891,230,635	1,924,891,260	△ 33,660,625